第 6 編

◎全国の公共下水道事業者数

	30年度	29年度	増減
都道府県営	4	4	0
指定都市営	20	20	0
市営	720	719	1
町村営	429	430	Δ 1
企業団営	16	16	0
計	1, 189	1, 189	0

下水道事業

1	事業の沿革	P209
2	下水道整備計画の概要	P225
3	下水道整備の現況	P226
4	処理場・ポンプ場施設	P231
	の概要	
5	事業の概要	P248
6	下水道の普及促進	P250
7	料金制度等	P253
8	財務の状況	P258

第6編 下水道事業

1 事業の沿革

(1)沿革

(1)	/H +-	
年	月 日	主 要 事 項
昭和	36. 6.26	公共下水道基本計画策定
	37. 3.31	公共下水道事業第1期事業計画の認可 (建設省)
		事業費 10億2千万円、整備面積 336ヘクタール
	40. 4. 1	建設部開発第1課内に下水道係を新設
	42. 2	浅野終末処理場用地買収完了
	". 3.27	公共下水道事業(終末処理場)事業計画変更の認可(厚生省)
		事業費 39億2千万円、整備面積 336ヘクタール
	43. 3.28	金沢都市計画下水道事業受益者負担に関する省令規則を制定
	". 4. 1	建設部下水道課を設置(庶務、建設の2係体制)
	". 5. 1	第1負担区受益者負担金額を公告
	".10. 1	金沢市公共下水道条例を制定
	". 12. 21	金沢市水洗便所改造資金融資条例を制定
	44. 3.25	金沢市公共下水道事業の設置等に関する条例及び金沢市公共下水道事業につ
		いて地方公営企業法の規定の一部を適用する条例を制定
	". 4. 1	浅野終末処理場の供用開始を告示し、下水道課に施設係を設置
	". 4.25	簡易処理を開始
	45. 4. 1	下水道課に業務、計画の2係を設置
	". 12. 21	金沢市下水道排水設備工事施工人に関する規則を制定
	46. 4. 1	下水道課に排水設備係を設置
	47. 4	活性汚泥法による高級処理開始
	". 4	下水道使用料の徴収を企業局に委託
		(市長事務の一部を金沢市公営企業管理者に委任する規則に基づく)
	". 4. 1	下水道課を下水道業務課と下水道建設課に分離
	<i>"</i> . 8. 4	公共下水道事業第2期事業計画の認可 (建設省)
		区域拡大 1,196ha (浅野1,196ha)
		事業費 189億、整備面積 1,532ヘクタール
		(第1期 342ha、第2期 1,190ha)
	" . 12. 21	金沢都市計画下水道事業受益者負担に関する条例を制定
	48. 2.21	第2負担区受益者負担金額を公告
	<i>"</i> . 4. 1	下水道部を新設、業務課(庶務、業務、排水設備係)建設課(建設第1、建設
		第2、計画係、終末処理場)を設置
	49. 4. 1	建設課終末処理場が浅野処理場(管理、処理係)として独立、業務課に収納
		整理係を設置

年	月 日	主 要 事 項
昭和	51. 6. 3	公共下水道事業第3期事業計画の認可 (建設省)
		東力処理区追加 1,336ha
		事業費 882億 整備面積 2,868ヘクタール (第1~2期を含む)
	52. 3.11	第3負担区受益者負担金額を公告
	". 5. 1	下水道使用料を改定(改定率 91%)
	". 9.16	西部処理場起工式
	53. 1.25	公共下水道事業第3期事業変更計画の認可 (建設省)
		西部処理施設の配置変更
	". 4. 1	建設課に建設第3係を設置
	54. 4. 1	建設課計画係が計画第1係、計画第2係に分離
	55. 4. 1	浅野処理場を処理課に改称し管理係、浅野処理場、西部処理場を設置
	". 5.16	西部処理場通水式を挙行
	". 7. 1	西部処理場処理開始を公示
	56. 6.12	公共下水道事業第4期事業計画の認可 (建設省)
		区域拡大 1,245ha (浅野 655ha、西部590ha)
		事業費 1,407億円 整備面積 4,113ヘクタール
		(第1~3期を含む)
	<i>"</i> . 7. 1	下水道使用料を改定(改定率 81%)
	57. 4. 1	下水道使用料を改定(改定率 16.6%)
	58. 4. 1	下水道使用料を改定(改定率 29.8%)
	". 12. 21	公共下水道事業第4期事業計画の認可 (建設省)
		浅野処理施設の配置変更
	59. 2. 1	第4負担区受益者負担金額を公告
	60. 6. 1	下水道使用料を改定(改定率 6.7%)
	62. 3.27	公共下水道事業第5期事業計画の認可(建設省)
		区域拡大 440ha (浅野440ha)
		事業費 1,606億円 整備面積 4,553ヘクタール
		(第1~4期を含む)
	". 6. 1	下水道使用料を改定(改定率 14.69%)
	" . 12. 19	犀川左岸流域下水道事業第1期事業計画の認可(建設省) 東光帯 150年 東末新 150年 東光帯 150年 東末新 150年
	C2	事業費 153億円 整備面積 690ヘクタール (金沢市、野々市町)
	63. 2. 3	流域関連公共下水道事業第1期事業計画の認可(県) 犀川左岸処理区追加 574ha
	n. 2.22	第5負担区受益者負担金額を公告
	". 2.22 ". 3. 7	公共下水道事業第5期事業変更計画の認可(建設省)
	, 0, ,	西部処理区を拡大 115ha、臨海処理区の追加 367ha
		事業費 1,493億円 整備面積 5,035ヘクタール
		17 / N. A. 1 100 (M. 1.) IE NII III 1 1 0 1 0 0 0 7 / / / /

年	月	日	主	要	事	項
昭和	63.	4. 1	業務課を庶務課に、処理	望課を施設管理課 に	二改称	
平成	元.	6. 1	下水道使用料を改定(改	文定率 10.1%)		
	<i>"</i> .]	11. 18	臨海浄化センター起工式	<u>.</u>		
	元.	12. 7	公共下水道事業第5期事	事業変更計画の認可	丁 (建設省)	
			浅野処理区を	:拡大 13ha		
			事業費 1,787	7億円 整備面積	5,048ヘクタール	
	3.	3. 19	公共下水道事業第5期事	F業変更計画の認可	丁 (建設省)	
			西部処理場施	記設、臨海浄化セン	/ター施設の追加	
	<i>"</i> .	4. 1	建設課に計画第3係、臨	ā海下水道建設事務	≶所を設置	
	<i>"</i> .	7. 1	臨海下水道建設事務所を	開設		
	4.	4. 1	浅野処理場、西部処理場	景を城北水質管理 セ	アンター、西部水質	質管理センターに
			名称変更			
			5か所の地域下水道施設	世の名称を水質管理	[ステーションに変	变更
	<i>"</i> .	5. 25	公共下水道事業第5期事	耳業変更計画の認可	「(県)	
			森本丘陵処理	見区の追加 65ha		
			事業費 1,835	5億円 整備面積	5, 113ヘクタール	
	<i>"</i> .	6. 1	下水道使用料を改定(改	文定率 6.6%)		
	<i>"</i> .	9. 6	下水道30周年記念事業	ệ開催		
			(6日)於 城北水質管	理センター		
			下水道探検	診隊、工事看板コン	クール、園芸教室	宦、小学生作品
			コンクール	、下水道コーナー	一等実施	
	" .	9. 10	(10日)於 石川県厚生	E 年金会館		
			下水道施設	党見学会、講演会	「婦人と健康」開作	崔
			市婦人会 4	5名参加		
	5.	4. 1	農村下水道施設の維持管	7理を開始(農村下	不水道事業費特別会	会計)
			俵、東原、竹	「又、三谷、清水名	ト、別所の6地区	
	6.	2. 14	公共下水道事業第5期事	工業変更計画の認可	「(県)	
			浅野処理区、	西部処理区の雨水	、排除計画の変更	
	<i>"</i> .	4. 1	臨海水質管理センターの	稼働にむけ職員5	名を配置	
	<i>"</i> .	4. 1	二俣地区農村下水道施設	め供用開始		
	<i>"</i> .	4. 17	城北水質管理センター第	51水処理施設上屋	量の改修完了、	
			ニュースポーツ広場とし	てオープン		
	<i>"</i> .	5. 11	公共下水道事業第6期事	耳業計画の認可 (類	建設省)	
			区域拡大 1,	126ha(浅野17ha	、臨海1, 109ha)	
			事業費 3,75	59億円 整備面積	6,239ヘクターバ	
				(第1∼5期	, ,	
	<i>"</i> .	5. 20	犀川左岸流域下水道事業			
				預円 整備面積 1,		
			(金沢市、野	ア々市町、鶴来町)	(第1期を含む)	

年	月 日	主	要	事	項
平成	6. 6. 1	下水道使用料を改定(改定	三率 15.98%)		
	". 7.19	流域関連公共下水道事業第	第2期事業計画	の認可(県)	
		区域拡大 4041	na		
	". 7.19	事業費 400億円	整備面積 97	'8ヘクタール	
	<i>"</i> . 9. 8	いきいき下水道建設大臣賞	了 受賞		
	".10. 1	臨海水質管理センター供用]開始を告示		
		整備面積 189ha	a、処理人口 8,	000人、管渠延長	55, 477 m
	".10. 7	臨海水質管理センター通水	く式を挙行		
	".11. 1	芝原地区農村下水道施設の	供用開始		
	".12. 1	犀川左岸流域下水道の一部	3供用開始(金額	尺市、野々市町)	
	".12. 1	金沢テクノパーク水質管理	ステーション(共用開始を告示	
	".12. 2	金沢テクノパーク水質管理	flステーションi	通水式を挙行	
	7. 3.31	第6負担区受益者負担金額	頁を公告		
	". 4. 1	北袋地区農村下水道施設 <i>σ</i>	供用開始		
	8. 4. 1	下水道使用料を改定(改定	三率 18.37%)		
		基本使用料制を	洋 導入		
	<i>"</i> . 9. 1	戸室新保地区農村下水道施	ご設の供用開始		
	". 11. 12	流域関連公共下水道事業第	52期事業計画の	の認可(県)	
		区域拡大 70㎏	a		
		事業費 420億円	整備面積 1,	048ヘクタール	
	". 12. 25	特定環境公共下水道事業の)認可 (県)		
		湯涌処理区追加] 25ha		
		事業費 12億円	整備面積 2	5〜クタール	
	9. 3.11	公共下水道事業第6期事業	美変更計画の認可	可(建設省)	
		増補幹線の位置	是及び管径の変更	更	
		汚泥共同処理施	西設の新設		
	<i>"</i> . 5. 8	西部水質管理センター汚派	2パイプ輸送施設	没竣工式	
	". 10. 21	公共下水道事業第6期事業	美変更計画の認可	可(建設省)	
		臨海水質管理セ	アンターの水処理	埋施設及び汚泥消化	2タンクの変更
	" . 12. 24	大浦汚水中継ポンプ場供用	開始		
	10. 4. 1	下水道使用料を改定(改定	三率 9.62%)		
	". 8.28	公共下水道事業第7期事業	(計画の認可()	建設省)	
	(11. 3.31)	区域拡大 8541	na(浅野113ha、	西部223ha、臨海	517ha、森本1ha)
	()は森本	事業費 3,764	億円 整備面積	7,093〜クター/	
			(第1~6 #	朝を含む)	
	11. 3.31	第7負担区受益者負担金額	頁を公告		
	12. 4. 1	汚泥共同処理施設の供用開	月始		
	". 5.24	公共下水道事業第7期事業	美変更計画の認う	可(県)	
		区域拡大 1301	na (臨海130ha)		

年	月 日	主要事項
		事業費 3,988億円 整備面積 7,223ヘクタール
平成	12. 8. 1	中山地区農村下水道施設の供用開始
	".10. 1	中戸地区農村下水道施設の供用開始
	13. 4. 1	下水道部は金沢市企業局と統合(地方公営企業法の全部適用)
	<i>"</i> . 4. 1	湯涌水質管理ステーションの供用開始
	". 5.30	浅野暫定ポンプ場(増補幹線)一部供用開始
	". 6.13	臨海水質管理センター ISO14001認証取得
	<i>"</i> . 9. 9	戸板雨水ポンプ場供用開始
	<i>"</i> . 9. 9	高畠雨水ポンプ場供用開始
	".11.13	流域関連公共下水道事業第2期事業計画の認可(県)
		区域拡大 139ha
		事業費 542億円 整備面積 1,187ヘクタール
	" . 12 . 17	木越汚水中継ポンプ場供用開始
	14. 12. 5	公共下水道事業第7期事業変更計画の認可(県)
		区域拡大 221ha (浅野129ha、臨海92ha)
		事業費 4,034億円 整備面積 7,444ヘクタール
	16. 1.19	流域関連公共下水道事業第2期事業計画の認可(県)
		区域拡大 17ha
		事業費 422億円 整備面積 1,204ヘクタール
	". 4. 1	湊雨水ポンプ場供用開始
	". 4. 1	古府雨水ポンプ場供用開始
	". 4. 1	保古雨水ポンプ場供用開始
	".11. 5	公共下水道事業第7期事業変更計画の認可(県)
		区域拡大 136ha (浅野3ha、臨海133ha)
		事業費 4,189億円 整備面積 7,580ヘクタール
	17. 5. 18	臨海水質管理センターから港エネルギーセンターへ精製消化ガスの供給を開始
	18. 3. 3	流域関連公共下水道事業第2期事業計画の認可(県)
		事業期間の延伸
		事業費 492億円 整備面積 1,204ヘクタール
		特定環境公共下水道事業の認可 (県)
		事業期間の延伸
		事業費 14億円 整備面積 25ヘクタール
	". 3.22	公共下水道事業第7期事業変更計画の認可(県)
	(18. 3. 3)	合流式下水道の改善施設の追加
	()は森本	計画放流水質の設定
		森本丘陵処理区 事業期間の延伸
		事業費 4,157億円 整備面積 7,580ヘクタール
	<i>"</i> . 6. 3	浅野雨水ポンプ場供用開始

年 月 日	主	要	事	項
平成 19. 3.30	公共下水道事業第7期事	耳業変更計画の認可	(県)	
	区域拡大 2	4ha(臨海24ha)		
	事業費 4,1	67億円 整備面積	7,604〜クタール	
20. 3.12	公共下水道事業第7期事	事業変更計画の認可	(県)	
	区域拡大 2	3ha(臨海23ha)		
	事業費 4,1	86億円 整備面積	7,627ヘクタール	
21. 4. 1	下水道使用料を改定(改	文定率 8.28%)		
22. 3.24	公共下水道事業第7期事	事業変更計画の認可	(県)	
	事業期間の延	5伸		
	区域拡大 1	3ha(浅野1ha、西音	『8ha、臨海4ha)	
	合流式下水道	道の改善施設の追加		
	森本丘陵処理	里区 事業期間の延	伸	
	事業費 4,3	45億円 整備面積	7,640〜クタール	
	流域関連公共下水道事業	美第2期事業計画の	認可(県)	
	事業期間の延	E伸		
	事業費 481	億円 整備面積 1,	204ヘクタール	
	特定環境公共下水道事業	美の認可(県)		
	事業期間の延	5伸		
	事業費 13億	第四 整備面積 25	ヘクタール	
23. 6.12	臨海水質管理センター			
24. 3.30	公共下水道事業第7期事			
		9ha(浅野29ha、臨		
		並の改善施設の変更		
		92億円 整備面積		
	流域関連公共下水道事業		認可(県)	
	区域拡大 5			
		億円 整備面積 1,		
25. 8.22	国土交通大臣賞<循環の		•	
26. 3.14	公共下水道事業第7期事		(県)	
	事業期間の延			
		4ha(浅野4ha、臨海	更70ha)	
	处理施設規模			
		け留施設の追加		
		24億円 整備面積		
<i>"</i> . 3.22	城北水質管理センター		+用開始	
<i>"</i> . 4. 1	七ツ屋ポンプ場系統滞水			
27. 3.31	森本丘陵処理区を臨海処		()	
	(金沢テクノパーク水質管	宮理ステーションの	廃止)	

年		主要事項
平成	27. 4. 1	浅野ポンプ場系統滞水池供用開始
	". 11 . 18	流域関連公共下水道事業第2期事業変更計画の協議(県)
		事業期間の延伸
		区域拡大 0.2ha
		事業費 482億円 整備面積 1,255ヘクタール
		特定環境公共下水道事業変更計画の協議(県)
		事業期間の延伸
		事業費 10億円 整備面積 30ヘクタール
	" . 12. 24	企業局総合防災計画策定
	30. 4. 1	農村下水道事業が農林水産局から企業局に移管
	30. 6. 1	公共下水道事業第7期事業変更計画の協議(県)
		事業期間の延伸
		区域拡大 29ha (臨海29ha (農業集落排水 薬師谷地区の編入))
		戸室新保次期埋立場浸出水を汚水量に追加
		改正下水道法に基づき排水施設の点検の方法及び頻度等を記載
		事業費 4,708億円 整備面積 7,736ヘクタール
	30. 11. 16	流域関連公共下水道事業第2期事業変更計画の協議(県)
		事業期間の延伸
		区域縮小 ▲20ha
		改正下水道法に基づき排水施設の点検の方法及び頻度等を記載
		事業費 498億円 整備面積 1,235ヘクタール
		特定環境公共下水道事業変更計画の協議(県)
		事業期間の延伸
		区域拡大 2ha
		改正下水道法に基づき排水施設の点検の方法及び頻度等を記載
		事業費 10億円 整備面積 32ヘクタール
	31. 3. 29	金沢市下水道五十年史 発行
令和	2. 2. 1	臨海水質管理センターにおいて民設民営の消化ガス発電事業開始
		発電事業者 水ingエンジニアリング株式会社 北陸営業所
		施設規模 60kW×6基 = 360kW
		事業期間 20年間

(2) 都市計画決定・認可等の経緯

					松		效	
	X X	II	処理方式	区域面積	u	処理能力	特 記 事 項	無 赤
				na	\prec	m"/ H 最大		
第 1 回(海1曲重整)	都市計画決定都市計画法事業認可下水消決重業認可	昭和37年 5月28日 昭和37年 5月28日 昭和37年 5月28日	6 流 八	336ha 336ha 336ha	74,500人		家庭汚水量 350L/日最大 地下水量 50L/日最大 工場排水量 20,945m³/日 区誌 38b,	
(知1別ず末)	一个但位于未能与			22011a				
c	都市計画決定	9月	Ĥ	336ha	7 0	700	終末処理場施設の新設(海底加畑相)	目標年次
国 7 张	40.17.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.	暗和42年 3月 8日 昭和42年 3月27日	₹ iu	ssona 336ha	7,300人	41,700	(茂野が珪物) 工場排水量 13,000m³/日	昭和55年3月
第 3 回	都市計画決定	昭和47年 3月31日	分新式				区域拡大 汚水1,196ha 1期事業342haに変更	八幡、東山、金腐 の都市下水路を
() H	都市計画法事業認可			ď	120,000人	126,000	2期事業1,190haに追加 ニュニュニュー	切替
(第2期事業)	下水道法事業認可	昭和47年 8月 4日	一部合流式	分流1,128 合流 404			雨水 707ha	目標年次 平成2年3月
								横山町、鞍月排水路
第 4 回	都市計画決定	昭和51年5月1日四新71年7日90日	分消以	3,165ha	1 000	000	東力処理場を新設 132,000m³/日 玉斗計而目立,	の都市下水路を四井
(第3期事業)		四和31年 / 月20日 昭和51年 6月 3日	一部今流式	2,868ha	214,000人 214,000人	258,000	はみ可 国 光直で (全域/2 雨水計 画策定)	90 目標年次
		•			•			平成7年3月
	都市計画決定	昭和53年 2月21日	分新兴	3,165ha			一部名称の変更	目標年次
第 2 回	都市計画法事業認可下水沿江東等認可	昭和53年 4月21日 四和52年 1月25日	上述 夕 进一	2,868ha	214,000人	258,000	西部処理場の地形変更による配置計画 _{の亦軍}	证品7年3日
	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1			2,00011a	7/000,17	700,000	グダブ	
回 9	都市計画決定		分流式	4,323ha			245	目標年次
(第4期事業)	都市計画法事業認可下水道法事業認可	昭和56年12月15日 昭和56年 6月12日	一部合流式	4,113ha 4,113ha	268,400人 268,400人	372,000 372,000	西部処理区 590ha 処理場114,000m³/日(浅野65,000m³/日	平成3年3月
							西部49,000m²/日)の追加	

					七		俠	
	Ŕ N	п К	処理方式	区域面積 ha		処理能力 m³/日最大	特 記 事 項	無
	都市計画決定	昭和59年 1月11日	分流式	4,323ha			浅野処理場	目標年次
第 7 回	都市計画法事業認可 下水道法事業認可	昭和59年3月6日 昭和58年12月21日	一部合流式	4,113ha 4,113ha	268,400人 268,400人	372,000 372,000	用地の変更、主要施設の配置変更、 主要幹線管渠ルートの変更	平成3年3月
0	杜州 中国关于	田辺手10日 1 10日	† 対 く	75612			浅野処理区区域拡大 440ha 圭而荖三姞の亦軍	駅西第2、光が丘、 町玉の地主下を殴
0	4011511 国 八	昭和62年 4月10日 昭和62年 8月 7日		4,700na 4,553ha	297,900人	266,000		数四の割川 1.45階を切替
(第5期事業)	下水道法事業認可	3月27	一部合流式	4,553ha	297,900人	266,000		目標年次 平成7年3月
	都市計画決定	昭和62年10月27日		1,984ha				
(流域下水道)				(1,014)			新規決定,認可	目標年次
犀川左岸	都市計画法事業認可	昭和62年11月30日	分流式	690ha	36,400人	27,500		
流域下水道				(574)	(29,600)	(27,500)	(27,500) () は金沢市分	平成7年3月
	下水道法事業認可	昭和62年12月19日		690ha	36,400人	27,500		
				(574)	(29,600)	(27,500)		
	都市計画決定	昭和62年10月27日		7,900ha			西部処理区区域拡大 115ha	
	都市計画法事業認可			5,609ha	353,000人	279,500	臨海処理区新規認可 367ha	
第 9 回	公共下水道	昭和63年 2月16日	分流式	5,035	323,400	279,500	犀川左岸处理区新規認可 574ha	
	流域関連公共	昭和63年2月3日		574	29,600	(27,500)	西部処理区第10分区を犀川左岸処理	目標年次
	下水道法事業認可		一部合流式	5,609ha	353,000人	279,500	区へ移行	
	公共下水道	昭和63年3月7		5,035	323,400	279,500		平成7年3月
	流域関連公共			574	29,600	(27,500)		平成7年3月
	都市計画決定	平成元年11月 1日	分流式	7,913ha			浅野処理区区域拡大 13ha	
	都市計画法事業認可			5,622ha	353,000人	279,500	(冲町・北部運動公園)	目標年次
第 10 回	公共下水道	平成2年 1月19日		5,048	323,400	279,500	臨海浄化センターへ名称変更	
	下水道法事業認可		一部合流式	5,622ha	353,000人	279,500	臨海浄化センター汚泥処理方式及び	平成7年3月
	公共下水道	平成元年12月 7日		5,048	323,400	279,500	配置の変更	
	都市計画決定	平成2年11月 1日	分流式	7,913ha			無量寺汚水中継ポンプ場の廃止	
	都市計画法事業認可			5,622ha	353,000人	279,500	粟崎汚水中継ポンプ場の位置変更	目標年次
第 11 回	公共下水道	平成3年5月17日		5,048	323,400	279,500		
	下水道法事業認可		一部合流式	5,622ha	353,000人	279,500	臨海浄化センター場内ポンプ場の設置	平成7年3月
	公共下水道	平成3年3月19日		5,048	323,400	279,500		

					长		体		
	jt 1	н Н	処理方式	区域面積	口	処理能力	特 記 事 項		析
				ha	\wedge	m³/日最大			
	都市計画決定 都市計画決事業認可	平成4年 3月11日	分	8,018ha 5.687ha	353.320人	282.500	西部水質管理センター汚泥処分方法の 変更及び地形変更	送の 	
第 12 回	公共下水道			5,048	323,400	279,500		目標年次	炎
	公共下水道(フレックス)	平成4年 6月23日		69	320	3,000	3,000 森本丘陵処理区の追加 65ha		
	下水道法事業認可		一部合流式	5,687ha	353,320人	282,500			
	公共下水道	平成4年 3月17日		5,048	323,400	279,500		平成7年3月	F3月
	公共下水道(フレックス)	平成4年 5月25日		69	320	3,000		平成11年3月	年3月
15	*************************************	证	1 1 1	0 1090 0			如古乳面池 宁の亦用の7,		
10	10000000000000000000000000000000000000		- 100	0,00011 <i>a</i>			即に同なんごダメジが福海処理区		
								軽微な変更	変更
第 14 回	下水道法事業認可		分消孔	5,687ha	353,320人	282,500	雨水計画の見直し		
	公共下水道	平成6年2月14日	一部合流式	5,048	323,400	279,500		(知事認可)	5月)
	都市計画決定	平成6年1月18日		2,243ha			区域拡大 836ha		
(流域下水道)				(1,080)			(404ha)	目標年次	炎
犀川左岸	都市計画法事業認可	平成6年5月20日	分消水	1,580ha	76,400人	55,000			
流域下水道				(828)	(44,700)	(37,400)		平成14年3月	年3月
	下水道法事業認可	平成6年5月20日		1,580ha	76,400人	25,000			
				(828)	(44,700)	(37,400)	()は金沢市分		Ī
	都市計画決定	巫成6年2月1日		8 441ha			区技技大 1530ba		
	新古計画注重整認可	·		7.917ha	391 390 A	393 000	7		
第 15 回	が、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、日本では、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本に	平成6年6月17日	分流	6.174	346,300	320,000	7	目標年次	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	流域関連公共			978	44,700	(37,400)	阻区		
(第6期事業)	下水道法事業認可		一部合流式	7,217ha	391,320人	323,000			
	公共下水道	平成6年5月11日		6,174	346,300	320,000		平成14年3月	年3月
	流域関連公共	平成6年7月19日		826	44,700	(37,400)		平成14年3月	年3月
	都市計画決定	平成8年2月1日		2,313ha			区域拡大 70ha		
(流域下水道)				(1,150)			(70ha)	目標年次	爻
犀川左岸	都市計画法事業認可	平成8年10月7日	分消水	1,650ha	78,000人	55,000			
流域下水道				(1,048)	(46,300)	(38,600)			
	下水道法事業認可	平成8年10月7日		1,650ha	78,000人	55,000		平成14年3月	年3月
				(1,048)	(46,300)	(38,600)	()は金沢市分		

		П			长			徠	
	K A	н Н	処理方式	区域面積		処理能力	棒配	車	備考
				ha	\prec	m³/日最大			
	都市計画決定 数市計画決事業認可	平成8年 5月21日	计线	8,511ha 7,287ha	392 920 A	323 000	区域拡大 护原中中被区	59ha	
	は、日は、日は、日は、日は、日は、日は、日は、日は、日は、日は、日は、日は、日は	平成9年6月3日		6.174	346.300	320.000	ケダース。日本の一名原工業団権	11ha	
	流域関連公共	平成9年1月21	一部合流式	1,048	46,300	(38,600)	(38,600) 増補幹線の位置及び管径の変更	び管径の変更	目標年次
第 16 回	下水道法事業認可			7,287ha	392,920人	323,000	汚泥共同処理施設の新設	の新設	
	公共下水道(フレックス)	平成8年7月30日		65	320	3,000	3,000 幹線の追加(フレックス)	(メス)	平成11年3月
	公共下水道	平成9年3月11日		6,174	346,300	320,000			平成14年3月
	流域関連公共	平成8年11月12日		1,048	46,300	(38,600)			平成14年3月
	都市計画決定	平成8年12月2日	分 流 式	8.536ha					目標年次
第 17 回	都市計画法事業認可			7,312ha	394,750人	324,200	湯涌処理区の追加	25ha	
	特定環境公共	平成9年3月11日	一部合流式	25	1,830	1,200			平成13年3月
	下水道法事業認可			7,312ha	394,750人	324,200			
	特定環境公共	平成8年12月25日		25	1,830	1,200			
第 18 回	下水谱決事業認可		分流式	7.319ha	394 750 A	316 200	臨海水質管理センターの水処理施設 お上で活泥池ルタンカの変更	ターの水処理施設 ノカの変更	目標年次
2	公とはず不能・3	平成9年10月21日	一部合流式	6,174	346,300	0	3080101010		平成14年3月
	数击掣用谷	日10日2 五月31日		8 093h			文标扩大 85.1b。		
	都市計画法事業認可	H 17 () + OTX/	4 海	8,166ha	411,610人	316.200	W.	113ha	目標年次
第 19 回	公共下水道	平成10年 9月 7日		7,027	363,000	312,000	西部処理区	223ha	• \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
(第7期事業)	公共下水道(フレックス)	平成11年 4月13日		99	480	3,000	臨海処理区	517ha	
	下水道法事業認可		一部合流式	8,166ha	411,610人	316,200	森本丘陵処理区	⊠ lha	
	公共下水道 公共下水道(フレックス)	平成10年 8月28日 平成11年 3月31日		7,027	363,000 480	312,000			平成18年3月 平成18年3月
						`			
(流域下水道)	都市計画決定	平成 9 年 7月25日		2,313ha (1,150)			区域拡大 30ha (0ha)		目標年次
犀川左岸	都市計画法事業認可	平成11年 3月31日	分流式	1,680ha	7000,67	55,000			
流域下水道				(1,048)	(46,300)	(38,600)			平成14年3月
	下水道法事業認可	平成11年 3月27日		1,680ha	79,000人	55,000	\$ + 5 2 2 7 7 7		
				(1,048)	(46,300)	(38,600)	(38,600) () (3条次中分		

					K				
	r 1	п Г	処理方式	区域面積	п _*	処理能力3/1-星士	特 記 事	厘	備素
				114	<	III / II 取入			
	都市計画決定	平成12年 2月14日		8,923ha			区域拡大 130ha		
	都市計画法事業認可			8,296ha	417,610人	327,700	臨海処理区 130ha		
	公共下水道	平成12年 6月 9日	分流式	7,157	369,000	323,500	黒田、保古、湊雨水ポンプ場の設置	り設置	目標年次
第 20 回	流域関連公共	平成12年 6月 9日		1,048	46,300	(38,600)	(38,600) (浅野第4汚水ポンプ場の設置)	<u>=</u>)	
	下水道法事業認可			8,296ha	417,610人	327,700	八田・乙丸第2汚水ポンプ場の廃止)廃止	
	公共下水道	平成12年 5月24日	一部合流式	7,157	369,000	323,500			平成19年3月
	流域関連公共	平成12年 5月24日		1,048	46,300	(38,600)			平成14年3月
	都市計画決定	平成12年8月		2,313ha			区域拡大 138ha		
(流域下水道)				(1,150)			(0ha)		目標年次
犀川左岸	都市計画法事業認可	平成12年10月20日	分消以	1,818ha	86,300人	55,000			
流域下水道				(1,048)	(46,300)	(38,600)			
	下水道法事業認可	平成12年10月20日		1,818ha	86,300人	55,000			平成14年3月
				(1,048)	(46,300)	(38,600)	()は金沢市分		
(流域下水道)	都市計画決定	平成13年 6月22日		(1,218)			区域拡大 388ha		
犀川左岸		平成13年10月24日	分流共	2,206ha	104,200人	68,800			目標年次
流域下水道				(1,187)	(52,700)	(38,300)			
	下水道法事業認可	平成13年10月24日		2,206ha	104,200人	68,800			平成18年3月
				(1,187)	(52,700)	(38,300)	()は金沢市分		
	都市計画決定	平成14年 8月21日		9,200ha			区域拡大 360ha		
	都市計画法事業認可		分流以	8,656ha	438,810人	327,700	浅野処理区 129	129ha	目標年次
	公共下水道	平成14年12月 9日		7,378	383,800	323,500	臨海処理区 92ha	ha	
第 21 回	流域関連公共	平成13年11月13日		1,187	52,700	(38,600)	犀川左岸処理区 139ha	ha	
	下水道法事業認可			8,656ha	438,810人	327,700			
	公共下水道	平成14年12月 5日	一部合流式	7,378	386,110	323,500			平成19年3月
	流域関連公共	平成13年11月13日		1,187	383,800	(38,600)			平成18年3月
(流域下水道)	都市計画決定	平成15年 2月21日		(1,235)			区域拡大 36ha		目標年次
犀川左岸		平成15年11月17日	分流式	2,242ha	102,500人	68,800	(福増・中屋地区 17ha)		
流域下水道				(1,204)	(20,600)	(36,600)	く十男くかご		平成18年3月
							() 从金代川汀		

		П			长			徠		
	K K	т Н	処理方式	区域面積	口	处理能力	特配	重量	備寿	
				ha	Y	m³/日最大				
	都市計画決定	平成16年 4月 1日		9,289ha			区域拡大 153ha			
	都市計画法事業認可		分流式	8,809ha	440,210人	327,700	浅野処理区	3ha	目標年次	
	公共下水道	平成16年11月 5日		7,514	387,300	323,500	臨海処理区	133ha		
第 22 回	流域関連公共	平成16年 1月29日		1,204	50,600	(36,600)	犀川左岸処理区	⊠ 17ha		
	下水道法事業認可			8,809ha	440,210人	327,700				
	公共下水道	平成16年11月 5日	一部合流式	7,514	387,300	323,500			平成23年3月	
	流域関連公共	平成16年 1月19日		1,204	50,600	(36,600)			平成18年3月	
(流域下水道)	都市計画決定	平成15年 2月21日		(1,235)			区域拡大 288ha		目標年次	
犀川左岸	都市計画法事業認可	平成17年 1月 6日	分流式	2,530ha	114,300人	68,800	(0ha)			
流域下水道				(1,204)	(51,000)	(34,800)			平成23年3月	
	下水道法事業認可	平成16年12月20日		2,530ha	114,300人	68,800				
				(1,204)	(51,000)	(34,800)	()は金沢市分			
	都市計画決定	平成17年 6月21日		9,289ha			計画放流水質の設定	京		
	都市計画法事業認可			8,809ha	440,610人	327,700	合流式下水道の改善施設の追加	善施設の追加		
	公共下水道	平成18年 3月22日	分流式	7,514	387,300	323,500	柳瀬1号雨水幹線の追加	り追加		
	公共下水道(フレックス)	平成18年3月3日		99	480	3,000			目標年次	
	特定環境公共	平成18年3月3日		25	1,830	1200				
第 23 回	流域関連公共	平成18年3月3日		1,204	51,000	(34,800)				
	下水道法事業認可			8,809ha	440,610人	327,700				
	公共下水道	平成18年 3月22日	一部合流式	7,514	387,300	323,500			平成23年3月	
	公共下水道(フレックス)	平成18年3月3日		99	480	3,000			平成23年3月	
	特定環境公共	平成18年3月3日		25	1,830	1200			平成23年3月	
	流域関連公共	平成18年 3月 3日		1,204	51,000	(34,800)			平成23年3月	
	张 一 本 中 本 中 本 中 本 中 本 一 も に も に も に も に に も に も に も に に も に に に に に に に に に に に に に	亚战10年9月13日		0.2135.0			3476 十年對人			
	部15回回で石	HOT (/7 12/14)		0,01011a	0	11		17 0	二萬万千	
	都中計画法事業認可			8,833ha	442,610人	327,700	臨海外祖区	24ha	日隔午(人	
第 24 回	公共下水道	平成19年 3月30日	分流式	7,538	389,300	323,500				
	下水道法事業認可			8,833ha	442,610人	327,700				
	公共下水道	平成19年 3月30日	一部合流式	7,538	389,300	323,500			平成23年3月	

					石		谷		
	Ř ∆	п К	処理方式	区域面積 ha	ц Ч	処理能力 m³/日最大	特 記 事	斯	備
第 25 回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 下水道法事業認可	平成19年12月14日平成20年3月18日平成20年3月18日	次 第 4 4 第	9,337ha 8,856ha 7,561 8,856ha	390,500 443,810 Å	327,700 323,500 327,700	区域拡大 23ha 臨海処理区 23ha	B	目標年次
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	カントルル 都市計画決定 都市計画法事業認可 下水道法事業認可 下水道法事業認可		K K K	(1,235) 2,627ha (1,204) 2,627ha (1,204)	(51,400)	(33,200) (33,200) (33,200)	区域拡大 97ha (0ha) (0ha) (1)法令泥市分		日標年次 平成28年3月
至 36 国	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道(フレッケス) 特定環境公共 流域関連公共 下水道法事業認可 公共下水道(フレッケス) 特定環境公共 活域関連公共 活域関連公共	平成21年12月28日 平成22年 4月16日 平成22年 4月16日 平成22年 4月16日 平成22年 4月16日 平成22年 3月24日 平成22年 3月24日 平成22年 3月24日	か 第 号 合 語 元 元 元	9,343ha 8,869ha 7,574 66 25 1,204 8,869ha 7,574 66 25	423,640 \(\) 370,700 400 1,140 51,400 423,640 \(\) 370,700 400 1,140 51,400	327,700 323,500 3,000 1,200 (33,200) 327,700 3,000 1,200 (33,200)	27,700浅野処理区1ha323,500南部処理区8ha3,000臨海処理区4ha1,200合流式下水道の改善施設の追加27,7004官寺2号雨水幹線の追加3,000323,5001,2001,200	а а [ЛП	目標年次 平成28年3月 平成28年3月 平成28年3月 平成28年3月
第 27 回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道 流域関連公共 下水道法事業認可 公共下水道	平成24年 3月30日 平成24年 4月27日 平成24年 4月27日 平成24年 3月30日 平成24年 3月30日	分 消 八 一 明 合 流 大	9,343ha 8,979ha 7,633 1,255 8,979ha 7,633	426,340 \(\) 372,600 52,200 426,340 \(\) 372,600 52,200	327,700 323,500 (33,200) 327,700 323,500 (33,200)		a a a 通	目標年次 平成28年3月 平成28年3月

		Ι			Æ.		〉	
	Ŕ M	п К	処理方式	区域面積 ha		処理能力 m³/日最大	特 記 事 項	無
第 28 回	都市計画法事業認可 公共下水道 下水道法事業計画変更 公共下水道	平成26年 5月16日 平成26年 3月14日	分 流 式一部合流式	8,987ha 7,707 8,987ha 7,707	430,040人 376,700 430,040人 376,700	268,000 266,800 268,000 266,800	区域拡大 8ha 浅野処理区 4ha 臨海処理区第12分区を追加 (森本丘陵処理区 66ha分) 処理施設規模の縮小	目標年次平成31年3月
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	都市計画法事業認可下水道法事業計画変更	平成26年11月28日 平成26年 6月 9日	分消式	2,724ha (1,255) 2,724ha (1,255)	120,400 人 (52,900) 124,000 人 (52,900)	50,300 (26,700) 50,300 (26,700)	区域拡大 97ha (51ha) ()は金沢市分	目標年次 平成32年3月
(流域下水道) 犀川左岸 流域下水道	下水道法事業計画変更	平成27年11月10日	分消以	2,761ha (1,255)	121,400人 (52,900)	50,300 (22,900)	区域拡大 37ha (0.2ha) ()は金沢市分	目標年次 平成32年3月
第 29 回	都市計画決定 都市計画法事業認可 公共下水道(フレックス) 特定環境公共 流域関連公共 下水道法事業計画変更 公共下水道(フレックス) 特定環境公共 流域関連公共	平成28年 3月22日 平成28年 3月31日 平成28年 2月 5日 平成28年 2月 5日 平成28年 3月31日 平成27年11月18日 平成27年11月18日	分 流 流 式 式	9,343ha 8,992ha 30 1,255 8,992ha 30 1,255	430,385人 785 52,900 430,385人 785 52,900	267,550 750 (22,900) 267,550 750 (22,900)	金沢市テクノパーク水質管理管理ステーション及び吐口の廃止 区域拡大 5ha 湯涌処理区 5ha 犀川左岸処理区 0.2ha	目標年次 廃止 平成32年3月 平成32年3月

					K		体	
	R N	п К	処理方式	区域面積	□ \(\)	処理能力 m ^{3/} 日 最大	特 記 事 項	備表
	都市計画決定	平成29年12月21日		9,372ha			農業集落排水(薬師谷地区)の公共下水道区域編入(29ha) 太陽が丘汚水中継ポンプ場廃止	
第 30 回	都市計画法事業認可 公共下水道 下水道法事業計画変更	平成30年 6月22日	分流	9,021ha 7,736 9,021ha	442,885人 389,200 442,885人	267,550 266,800 267,550	区域拡大 29ha 臨海処理区 29ha 戸室新保次期埋立場浸出水の受入れに	目標年次
	公共下水道	平成30年 6月 1日	一部合流式	7,736	389,200	266,800	266,800 伴う汚水量見直し 施設の点検の方法及び頻度等を記載	平成36年3月
(流域下水道) 犀川左岸	(流域下水道) 下水道法事業計画変更 犀川左岸	平成30年11月16日	分流	2,741ha (1,235)	126,000人 (54,300)	50,300 (23,300)	区域縮小 ▲20ha (▲20ha)	目標年次
流域下水道							() 法金沢市分	平成37年3月
Č	都市計画法事業認可特定環境公共	平成30年11月27	分消火	9,003ha 32	9,003ha 444,225 λ		区域拡大 2ha 湯涌処理区 2ha	目標年次
第 31 回	が政関連公共 下水道法事業計画変更 特定環境公共 流域関連公共	平成30年11月27日 平成30年11月16日 平成30年11月16日	分流	1,235 9,003ha 32 1,235	1,235 54,300 9,003ha 444,225人 32 725 1,235 54,300	(23,300) 267,550 750 (23,300)	00)	平成36年3月 平成37年3月

2 下水道整備計画の概要

		全体計	·画(目標年	次令和1	2年度)	事業計	十画(目標年	次令和5	年度)		
区分	処理区名	処理人口	処理面積	処理場	ポン 汚水	プ場 雨水	処理人口	処理面積	処理場	ポン 汚水	プ場 雨水	備考
単独公共	浅野処理区	人 159,300	ha 3,223		6	1	人 155,600	ha 2,936	1	6	1	
IJ	西部処理区	134,800	2,301	1	1	1	138,500	2,272	1	1	1	
IJ	臨海処理区	00 000	9.094	1	3	1	95,100	2,528	1	3	1	
"	森本丘陵 処理区	98,900	2,834	1	ن ا	1	(400)	(66)	(1)			平成26年度 臨海処理区に 統合
小計		393,000	8,358	3	10	3	389,200	7,736	(1) 3	10	3	
流域関連 公 共	犀川左岸 処理区	52,600	1,235	l	_	2	54,300	1,235			2	目標年次 令和6年度
単 独 特 環	湯涌処理区	695	32	1	_		725	32	1			目標年次 令和5年度
合計		446,295	9,625	4	10	5	444,225	9,003	(1) 4	10	5	

注:森本丘陵処理区はフレックスプランによる整備で、平成26年度に管渠を臨海処理区に接続し、処理場を廃止した。

金沢市の公共下水道事業計画は、昭和37年に旧市街地を中心とする2,364~クタールの全体計画を策定しま した。

その後、都市計画決定による市街化区域の拡大に伴い、順次、全体計画を見直し、平成30年度には、浅野、西部、臨海、犀川左岸、湯涌の5処理区で9,625~クタールとしています。

排除方式 合流式 404 ヘクタール

分流式 9,221 ヘクタール

終末処理場 城北水質管理センター 高級処理 9系列

犀川以北の地区の汚水を処理

西部水質管理センター 高級処理 4系列

犀川以南の地区の汚水を処理

臨海水質管理センター 高級処理 4系列

犀川以北及び北陸自動車道より日本海まで

の地区の汚水を処理

湯涌水質管理ステーション 高級処理 2系列

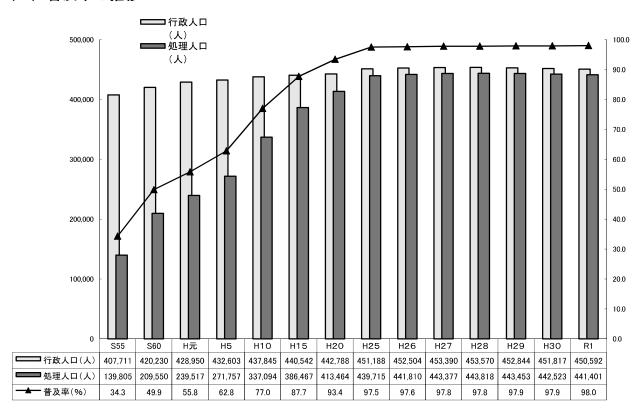
湯涌地区の汚水を処理

3 下水道整備の現況

(1)整備概要

		事	業	計	画		元 年	度末	整備	状	況	
区分	処理区名	処理人口	処理面積	処理場		プ場 雨水	処理人口	整備面積	処理場		プ場 雨水	備考
単独		人	ha	箇所	箇所		人	ha	箇所	箇所		昭和44年4月
公共	浅野処理区	155,600	2,936	1	6	1	151,312	2,815	1	6	1	供用開始
"	西部処理区	138,500	2,272	1	1	1	137,428	2,239	1	1	1	昭和55年7月 供用開始
"	臨海処理区	95,100	2,528	1	3	1	96,390	2,211	1	3	1	平成6年10月 供用開始
小	<u> </u>	389,200	7,736	3	10	3	385,130	7,265	3	10	3	
流域関連 公 共	犀川左岸 処理区	54,300	1,235	_	I	2	55,778	1,149	_	-	2	平成6年12月 供用開始
単 独 特 環	湯 涌 処 理 区	725	32	1	-	_	493	29	1	_	_	平成13年4月 供用開始
合	計	444,225	9,003	4	10	5	441,401	8,443	4	10	5	

(2)普及率の推移



(3) 面整備の現況

	五年州ワシル	事	業計	画	元年月	ま 末 整 化	備 状 況
処理区	処 理 分 区	処理面積	計画人口	管渠延長	整備面積	処理人口	管渠延長
		ha	人	m	ha	人	m
浅	城 東 第 1	27	2,400		27		
124	<u> </u>	192 123	14,100 7,600		192 123		
田之	_円 城東第2	315	21,200		315		
野	上諸江	80	4,900		80		
	田上	457	13,100		391		
処	浅 野 第 1	62	5,900	817,810	62	151,312	788,515
	浅 野 第 2	343	15,500	011,010	315	101,012	100,010
理	城南	436	28,800		436		
	<u>駅</u> 西 柳 橋	406 362	19,800 18,900		398 362		
J.	高柳	100	2,200		84		
区	金川	33	1,200		30		
	小計	2,936	155,600		2,815		
	第 1	493	30,800		493		
西	第 2	220	16,800		219		
部	第 3 第 4	154 113	12,700 7,100		154		
미미		271	14,700		113 262		
処	第 1 第 2 第 3 第 6 第 7 第 8	143	6,700	589,700	142	137,428	583,782
	第 8	99	4,600		99		220,.32
理	第 9	226	12,200		226		
<u> </u>	額	363	23,600		363		
区	末 小計	190 2,272	9,300		168 2,239		
		127	138,500 6,530		2,239		
吃台	第 1 第 2 第 3 第 5 第 6 第 7	228	11,300		228		
臨	第 3	263	570		169		
冷	第 4	463	22,200		463		
海	第 5	174	6,900		156		
Ьп	第 6	456	16,490	600 500	410	06.200	EOG 7EO
処	第 7 第 8	80 137	3,900 6,480	692,500	73 97	96,390	596,750
理	第 8 第 9	202	8,500		134		
垤	第 10	122	2,560		122		
□	第 11	210	9,480		194		
区	第 12	66	190		47		
	<u>小計</u> 八 日 市 南	2,528	95,100		2,211		
	八日市南八日市北	46 39			46		
犀	新保本南	27			25		
	新保本北	59	14,130		39 25 59		
111	松島	25	14,130		25		
Ш	神野	11			11		
	<u>古府東</u> 古府北	15 46			15 44		
左	<u> 白_ / 桁 札</u> 豊 穂	99			77		
	下安原南	187	10.000		158		
岸	下安原北	11	13,980	317,570	11	55,778	291,650
干	専 光 寺	267		311,310	242	55,118	291,000
	押野	30	1 2 0 4 0		30 82		
処	米 泉 保 古	82 67	11,240		82 67		
	保 古 黒 田	81	6,100		80		
理	上荒屋	90	0,100		90		
土	森 戸 西	4			4		
	矢 木 南	7	8,850		6		
区	矢 木 北	29			27		
	森戸東	11	E4.000		11		
(森本日	<u>小計</u> £ 陵 処 理 区)	1,235 (66)	54,300 (400)	(7,790)	1,149 (47)	_	(7,386)
湯涌		32	725	14,000	29	493	12,095
合	計	9,003	444,225	2,431,580	8,443	441,401	2,272,792
Н	н	5,000	111,220	٠, ١٠١,٥٥٥	0,110	111,101	

注1 森本丘陵処理区はフレックスプランによる整備であり()内数字は臨海処理区第12分区に含まれる。 注2 個々の分区について小数点以下を四捨五入した数値を記入するため、端数の関係で計が一致しない場合がある。 — 227 —

(4) ポンプ場施設の現況

				事	業 計 画	元年度	末 整 備 状 況
名称	処理区	敷地面積 ㎡	区分	施 設 能 力 m³/分	ポンプ施設	施 設 能 力 m ³ /分	ポンプ施設
七ツ屋	' 4' HIP	1.550.00	雨水	610.00	140m³/分×2台 330m³/分×1台	610.00	140m³/分×2台 330m³/分×1台
ポンプ場	浅野	1,579.22	汚水	147.00	35m³/分×3台 42m³/分×2台(1)	146.60	34.8m³/分×3台 42.2m³/分×2台(1)
駅西汚水中継ポンプ場	浅野	146.98	汚水	2.90	2.9m³/分×2台(1)	5.80	2.9m³/分×3台(1)
小橋汚水中継 ポンプ場	浅野	98.85	汚水	12.20	6.1m ³ /分×3台(1)	12.80	6.4m ³ /分×3台(1)
乙丸第一汚水 中継ポンプ場	浅野	852.85	汚水	3.20	3.2m³/分×2台(1)	8.80	4.4m³/分×3台(1)
上諸江汚水中継ポンプ場	浅野	2,397.00	汚水	12.00	12.0m³/分×2台(1)	15.30	15.3m³/分×2台(1)
横枕汚水 中継ポンプ場	浅野	1,222.63	汚水	11.40	5.7m³/分×3台(1)	9.00	4.5m³/分×2台 6.8m³/分×1台(1)
高畠汚水中継ポンプ場	西部	526.00	汚水	1.90	1.9m³/分×2台(1)	7.00	7.0m ³ /分×2台(1)
栗崎第一汚水 中継ポンプ場	臨海	507.11	汚水	2.90	2.9m³/分×2台(1)	5.20	2.6m ³ /分×3台(1)
大浦汚水中継ポンプ場	臨海	1,987.67	汚水	13.60	6.8m³/分×3台(1)	16.60	5.4m³/分×2台 5.8m³/分×1台 9.5m³/分×1台(1)
木越汚水 中継ポンプ場	臨海	1,945.38	汚水	10.20	5.1m³/分×3台(1)	13.10	5.3m³/分×1台 7.8m³/分×2台(1)
戸板雨水ポンプ場	浅野	576.21	雨水	142.20	71.1m ³ /分×2台	142.20	71.1m ³ /分×2台
高畠雨水ポンプ場	西部	972.00	雨水	218.40	109.2m³/分×2台	218.40	109.2m³/分×2台
保古雨水ポンプ場	犀川 左岸	3,500.00	雨水	438.60	146.2m³/分×3台	439.20	146.4m³/分×3台
古府雨水ポンプ場	犀川 左岸	1,340.00	雨水	330.00	110.0m³/分×3台	329.40	109.8m³/分×3台
湊雨水 ポンプ場	臨海	3,170.66	雨水	318.00	159.0m³/分×2台	318.00	159.0m³/分×2台

^{※ ()}は予備ポンプの数量である。

(5)終末処理場施設の現況

	\	処理場名	城北	西部	臨海	(金沢テクノパーク	湯 涌
根	【 要	Ĭ.	水質管理センター	水質管理センター	水質管理センター	水質管理ステーション)	水質管理ステーション
	所	在地	金沢市浅野本町	金沢市東力町	金沢市湊	(金沢市北陽台	金沢市
	121	11. 40	ホ131番地	ハ272番地	3丁目5番地8	2丁目74番地)	湯涌荒屋町16番
男) 士	地 面 積	141,323. 58㎡	44,016. 94 m²	97,674.11 m²	(8,100 m²)	4,228 m²
5	几	全体計画	3,223ha	2,301ha	2,834ha	-	32ha
₹ 1	里 面	認可計画	2,936ha	2,272ha	2,528ha	(66ha)	32ha
₹	責	整備状況	2,815ha	2,239ha	2,211ha	(47ha)	29ha
Į,	匹	全体計画	159,300人	134,800人	98,900人	_	695人
Ŧ	里人	認可計画	155,600人	138,500人	95,100人	(400人)	725人
1	コ	整備状況	151,312人	137,428人	96,390人	-	493人
10	晴	全体計画	156,000m³/日	64,800m ³ /日	46,000m³/日	-	750m³/日
処	天時最	事業計画	156,000m³/日	64,800m³/日	46,000m³/日	$(3,000 \text{m}^3 / 目)$	750m³/日
理	大	整備状況	156,000m³/日	64,800m ³ /日	46,000m³/日	(1,500m ³ /日)	750m ³ /日
能		全体計画	269,000m³/日	_	_	-	-
力	天時最	事業計画	$269,000$ m $^3/$ 日	_	_	-	-
	大	整備状況	269,000m³/日	_	_	-	-
技	F F	涂 方 式	分 流 式 (一部合流式)	分 流 式	分 流 式	(分流式)	分 流 式
久	л Э	理 方 式	標準活性 汚泥法	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法	(オキシデーション ディッチ 法)	オキシデーション ディッチ 法 + 接 触 曝 気 法
	放	流 先	浅野川(2級河川)	伏見川(2級河川)	大野川(2級河川)	(森下川(2級河川))	浅野川(2級河川)
(力	く質	環境基準)	В-п	Eーハ	Cーイ	(Aーイ)	Aーイ
	備	考	昭和44年4月 供用開始	昭和55年7月 供用開始	平成6年10月 供用開始	平成6年12月 供用開始 平成27年3月 廃止	平成13年4月 供用開始

(6)農村下水道の現況

〇整備概要 (※供用開始順)

	1 恢安	(水洪川州)												
区 分	処理区名	処理施設 所 在 地	計画戸数	計画人口	計画面積	事業 採択	事業期間	供用開始	処理方式	処理 能力	放流河川	元年度末 管路 延長	元年度末 中継 ポンプ	元年度末 処理 人口
農業集落 排水	俵	俵町ヨ1	戸 23	人 150	ha 4.1	S59.3	S59~S61	S62. 4. 1	接触曝気方式 (沈殿分離槽前 置型)	m³/∃ 49.5	(普通河川) 浅野川	m 1,599	箇所 0	人 65
農業集落 排水	三谷	正部町ラ2	110	690	16.0	S62.4	S62∼H 7	Н 2.10.15	接触曝気方式 JARUS- Ⅲ 型	187.0	森下川	5,594	4	304
農業集落 排水	東原	東原町 コ60-2	40	230	6.0	S63.4	S63∼H 3	Н 3.10. 1	接触嚗気方式 JARUS- I 型	62.1	(清水谷川) 森下川	1,634	1	92
農業集落 排水	竹又	竹又町 イ20	31	140	6.0	H 1.4	H 1∼H 3	H 4. 5. 1	接触曝気方式 JARUS- I 型	37.8	(清水谷川) 森下川	845	1	59
農業集落 排水	別所	蓮花町 口134-1	180	1,230	25.0	H 2.4	H 2∼H 5	H 5. 4. 1	接触曝気方式 JARUS-Ⅲ型	332.1	(排水路) 犀 川	5,467	3	475
県単 特定農村 下水道	清水谷	清水谷町 イ212	16	120	1.4	Н 3.4	H 3∼H 4	H 5. 4. 1	接触曝気方式 (沈殿分離槽前 置型 FRP槽)	24.0	(清水谷川) 森下川	408	0	36
農業集落 排水	二俣	二俣町 〜1−2	144	680	15.0	Н 3.4	Н 3∼Н 6	H 6. 4. 1	接触曝気方式 JARUS-III型	183.6	(用排水路) 森下川	3,859	11	330
農業集落排水	北袋	北袋町イ6	137	740	21.0	H 4.4	H 4~H 8	H 7. 4. 1	接触曝気方式 JARUS- III 型	200.0	浅野川	6,509	8	383
〔緊急〕 農業集落 排水	戸室新保	戸室新保町 リ61-15	38	220	12.0	H 5.4	Н 5∼Н 9	H 8. 9. 1	接触曝気方式 JARUS- I 型	59.4	(ため池) 金腐川	4,058	5	124
小規模 集合排水 処理施設	山川	山川町 弐字34	16	130	4.0	Н 7.4	Н 7∼Н 9	Н 9.10. 1	接触曝気方式 (沈殿分離槽前 置型 FRP槽)	26.0	(排水路) 犀 川	883	0	42
〔緊急〕 農業集落 排水	薬師谷	河原市町 ホ70	312	2,460	44.0	H 5.4	H 5∼H10	H10. 4. 1	回分式活性汚 泥方式 JARUS-XI型	665.0	(排水路) 森下川	11,633	13	844
農業集落 排水	直江谷	納年町 イ63	213	900	43.0	Н 6.4	H 6∼H11	H10. 4. 1	接触曝気方式 JARUS- Ⅲ 型	243.0	(用排水路) 森下川	10,560	8	404
農業集落 排水	田島	田島町 ヤ66	85	370	6.0	Н 7.4	H 7∼H11	H10. 5. 1	接触曝気方式 JARUS- I 型	99.9	(田島川) 森下川	2,275	7	193
〔緊急〕 農業集落 排水	土子原	土子原町 チ3-3	29	120	6.6	Н 7.4	H 7∼H10	H10. 9. 1	接触曝気方式 JARUS- I 型	32.4	(桐山川) 森下川	1,793	2	46
小規模 集合排水 処理施設	曲子原	曲子原町 チ84-3	21	200	7.2	Н 7.4	H 7∼H10	H10. 9. 1	接触曝気方式 (流量調整槽前 置型)	40.0	(桐山川) 森下川	1,410	1	34
農業集落 排水	小 池	小池町 南33	35	280	10.0	Н 8.4	H 8∼H11	H11. 5. 1	連続流入間欠 曝気方式 JARUS-X IV 型	75.6	(ため池) 森下川	2,379	3	170
小規模 集合排水 処理施設	中山	中山町ヨ47	18	160	3.4	Н 9.4	H 9∼H12	H12. 8. 1	接触曝気方式 (沈殿分離槽前 置型 FRP槽)	32.0	(排水路) 浅野川	1,222	1	59
農業集落排水	中戸	天池町参字 207-1	32	270	7.1	H 9.4	H 9∼H12	H12.10. 1	接触曝気方式 JARUS- I 型	72.9	(排水路) 犀 川	1,692	0	114
農業集落 排水	福畠	福畠町 185-1	29	120	6.8	H12.4	H12~H14	H15. 6. 1	接触曝気方式 JARUS-S型	32.4	(深谷川) 森下川	3,306	8	66
農業集落 排水	湯浅	茅原町 ハ62	42	170	9.6	H12.4	H12~H15	H16. 4. 1	接触曝気方式 JARUS-S型	45.9	浅野川	3,719	7	107
農業集落排水	小 原	小原町 タ47	40	150	5.1	H15.4	H15∼H18	H18. 6. 1	接触曝気方式 JARUS-S型	40.5	(排水路) 犀 川	2,020	1	85
合	計		1,591	9,530	259.3							72,865	84	4,032

4 処理場・ポンプ場施設の概要

(1) 城北水質管理センター

所 在 地 金沢市浅野本町ホ131番地

操業開始 昭和44年4月

主要施設

土安心改		
(共通管理施設)		
管 理 棟	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積1,489.95㎡
水質試験棟	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積 943.06㎡
特高受変電室	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積 706.42㎡
自 家 発 棟	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積 810.37㎡
(水処理共通施設)		
浅 野 ポ ン プ 場	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積2,232.37㎡
(沈砂池施設)	長さ 幅 有効水深	
雨水沈砂池	内法 16.0m × 5.0m × 1.9m	5池
汚 水 沈 砂 池	内法 16.0m × 2.3m × 0.6m (分流系)	2池
	内法 16.0m × 1.5m × 0.6m (合流系)	1池
(処理水再利用施設)		
処理水貯留施設	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積 398.94㎡
(第1水処理系)	長さ 幅 有効水深	
分 水 井	内法 6.5m × 6.8m × 3.2m	1池
最 初 沈 殿 池	内法 37.6m × 14.4m × 3.2m	5池
滞水池	内法 37.6m × 14.4m × 2.8m	2池
反応 タンク	内法 51.4m × 7.0m × 4.5m × 2水路/池	7池
最終沈殿池	内法 29.6m × 17.7m × 3.3m	7池
塩 素 混 和 池	内法 234.0m × 3.0m × 2.6m	1池
滅 菌 棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 588.80㎡
機械棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積2,572.08㎡
用 水 電 気 棟	鉄筋コンクリート造 1階建	延面積 182.38㎡
(第2水処理系)	長さ 幅 有効水深	
着 分 配 槽	内法 6.5m × 6.7m × 5.1m	1池
最 初 沈 殿 池	内法 28.0m × 12.2m × 3.0m	2池
反応タンク	内法 112.0m × 6.1m × 6.0m	2池
最終沈殿池	内法 47.0m × 12.2m × 3.0m	2池
塩 素 混 和 池	内法 131.5m × 2.5m × 3.0m	1池
滅 菌 棟	鉄筋コンクリート造 1階建	延面積 212.62㎡
ブロワ嫌	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積1,399.21㎡
(汚泥処理系)		
汚泥濃縮タンク	鉄筋コンクリート造 内径 14.4m×3.0m	2基
消化タンク	鉄筋コンクリート造 内径 18.0m×8.4m	4基
卵形消化タンク	プレストレスコンクリート造 最大内径 16.6m×25.9m	3,100m ³ 3基
汚泥洗浄タンク	鉄筋コンクリート造 内径 16.6m×3.0m	2基

	ガ	ス	タ	ン	ク	乾式低圧ガスホルダー	内径 16.5m×19.9m	3,000m ³	1基
						乾式低圧ガスホルダー	内径 16.5m×21.3m	$2,500 \text{m}^3$	1基
7	ボ	イ	ラ	<u> </u>	棟	鉄筋コンクリート造	2階建	延面積	$243.47\mathrm{m}^2$
-	I.		作		室	軽量鉄骨造	1階建	延面積	$170.00\mathrm{m}^2$
ř	汚	泥	濃	縮	棟	鉄筋コンクリート造	地下1階/地上2階	延面積1,	633.56 m²
ř	汚	泥	処	理	棟	鉄骨鉄筋コンクリート造	地下1階/地上3階	延面積4,	285.18 m²
ž	執	交	換	器	棟	鉄筋コンクリート造	地下1階/地上5階	延面積1,	866.83 m²
ξ	終沈;	汚泥	ポン	プ操作	乍室	鉄筋コンクリート造	地下1階/地上1階	延面積	626.69 m²
2	生汚	泥し	渣隙	会 去 加	色 設	鉄骨造	1階建	延面積	$132.17\mathrm{m}^2$

立軸斜流ポンプ 1,100mm×170m ³ /min×280kW(先行待機型)	1台
" $1,500 \text{mm} \times 280 \text{m}^3 / \text{min} \times 500 \text{kW}$	4台
立軸斜流ポンプ 500mm× 35m³/min×115kW	4台
自動除塵機	13基
沈砂掻揚機(汚水系沈砂)	3基
揚砂装置(汚水系、雨水系)	各1式
グラブバケットクレーン(0.54t・雨水系沈砂)	1基
雨水集砂装置	1式
沈砂分離機	1式
沈砂・し渣ホッパ	各1基
活性炭吸着塔	1基
初沈(メイン1基・クロス1基)×5池	計10基
終沈(メイン2基・クロス1基)×7池	計21基
水中機械式曝気機 3台/水路×2水路/池×7池	計42台
多段ターボブロワー 106m³/min×53.9kPa 150kW×3,300V	4台
次亜塩貯留タンク 有効容量8.0m3/基	4基
次亜塩注入機 可変容量式ダイヤフラムポンプ 0.60/min	4台
生物脱臭装置 300m³/min×3.2kPa 30kW	1基
初沈 メイン1基×2池	計2基
終沈 メイン1基×2池	計2基
多段ターボブロワー 52m³/min×66.6kPa 110kW×3,300V	2台
嫌気槽撹拌機 1.5kW 2台/池×2池	計4台
次亜塩貯留タンク 有効容量6.0m3/基	1基
次亜塩注入機 可変容量式ダイヤフラムポンプ 0.250/min	2台
生物脱臭装置 150m³/min×2.2kPa 15kW	1基
伝熱面積 7.8㎡ 本体出力 2,090MJ/h	2台
スパイラル式 交換熱量 921MJ/h	4基
ベルト型濃縮機 40m ³ /h	2基
高効率スクリュープレス脱水機 280kg・DS/h/台	3台
高効率ベルトプレス脱水機 90kg・DS/m・h×3m	1台
	# 1,500mm×280m³/min×500kW 立軸斜流ポンプ 500mm×35m³/min×115kW 自動除塵機 沈砂掻揚機(汚水系、雨水系) グラブバケットクレーン(0.54t・雨水系沈砂) 雨水集砂装置 沈砂分離機 沈砂・し流ホッパ 活性炭吸着塔 初沈(メイン1基・クロス1基)×5池 終沈(メイン2基・クロス1基)×7池 水中機械式曝気機 3台/水路×2水路/池×7池 多段ターホ'ブロワー 106m³/min×53.9kPa 150kW×3,300V 次亜塩貯留タンク 有効容量8.0m³/基 次亜塩注入機 可変容量式ダ'イヤフラムポ'ンプ' 0.60ℓ/min 生物脱臭装置 300m³/min×3.2kPa 30kW 初沈 メイン1基×2池 終沈 メイン1基×2池 終沈 メイン1基×2池 参改ターボブロワー 52m²/min×66.6kPa 110kW×3,300V 嫌気槽撹拌機 1.5kW 次亜塩注入機 2台/池×2池 次亜塩注入機 可変容量式ダ'イヤフラムポ'ンプ' 0.250ℓ/min 生物脱臭装置 150m³/min×2.2kPa 15kW 伝熱面積 7.8 m² 本体出力 2,090MJ/h スパイラル式 交換熱量 921MJ/h ベルト型濃縮機 40m³/h 高効率スクリューブ・レス脱水機 280kg・DS/h/台

ケーキ 貯 留 ホッパ 脱 臭 設 備	有効容量 25m ³ 生物脱臭装置 活性炭吸着塔	30m³∕min×3.2kPa 3.7kW	2基 1基 4基
(処理水再利用系)	浮上ろ材ろ過機	ろ過水量1.4m³/min	3基
ろ 過 設 備	上向流式砂ろ過機	ろ過水量0.43m³/min	8基

電気計装設備

特高受変電設備	77kV GIS受変電設備		1式
	主要変圧器 5,000kV	A	1台
自家用発電設備	ディーゼル発電設備	出力2,500kVA×3,300V	2台
	消化ガス発電設備	出力25kW×200V	8台
	小水力発電設備	最大出力2.6kW×200V	1基
	風力発電設備	最大出力3.0kW×200V	1基
監 視 制 御 設 備	分散型制御装置	現場電気室設置制御装置	9組
		中央監視室設置制御装置(CRT)	5組
		汚泥監視室設置制御装置(CRT)	1組
	遠方監視制御装置	管渠水位·雨量計測TM/TC	9組
		汚水中継ポンプ場TM/TC	(3組)
情報処理装置	主CPU(6Mバイト)		1式
	補助記憶装置(132M	バイト×2)	1式
	CRT・プリンター他周辺]装置	1式

〔汚泥共同処理施設〕

操 **業 開 始** 1号焼却炉 平成12年4月 2号焼却炉 平成22年4月

主要施設

ケーキ受入管理棟			理棟	鉄筋	コンクリート造 地下1階/地上4階	延面積2,703.44㎡	
	焼	却	炉	棟	1号	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階/地上3階	延面積1,236.39㎡
					2号	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階/地上3階	延面積1,098.34㎡

_ > 1% HI		
(ケーキ受入管理棟)		
ケーキ受入ホッパ	有効容量 150m ³	2基
トラックスケール	0~30t	1基
ケーキ圧送ポンプ	ダブルシリンダー式 10m³/h(MAX)	4台
脱 臭 設 備	活性炭吸着塔	1基
(1号焼却炉棟)		
定量フィーダ	有効容量 30m ³	1基
ケーキ供給ポンプ	一軸ねじ式 4.4t/h(MAX)	2台
汚 泥 焼 却 炉	流動床式 80t/d	1基
空 気 予 熱 器	シェル&チューブ式 4,437MJ/h	1基
白煙防止予熱器	シェル&チューブ式 3,314MJ/h	1基
温水熱交換器	真空式 1,967MJ/h	1基
集 塵 装 置	バグフィルタ 12,000Nm³/h	1基
灰ホッパ	有効容量 30m ³	1基

灰 加 湿 機	パンミキサー式 10t/h	1基
排煙処理塔	14,500Nm ³ /h	1基
(2号燒却炉棟)		
定量フィーダ	有効容量 30m ³	1基
ケーキ供給ポンプ	一軸ねじ式 4.0t/h(MAX)	2台
汚 泥 焼 却 炉	流動床式 70t/d	1基
空 気 予 熱 器	Uチューブ型 4,600MJ/h	1基
白煙防止予熱器	シェル&チューブ式 3,200MJ/h	1基
温水熱交換器	真空式 1,800MJ/h	1基
集 塵 装 置	セラミックフィルタ 11,000Nm³/h	1基
灰 ホ ッ パ	有効容量 30m ³	1基
灰 加 湿 機	パンミキサー式 5t/h	1基
排 煙 処 理 塔	16,000Nm ³ /h	1基
消石灰添加装置	自動可変連続定量供給機 9.60/h	1基

〔浅野第4ポンプ場〕

操 業 開 始 平成18年4月

流入区域 浅野第二分区(乙丸町、浅野本町、京町の一部)、高柳分区(沖町、

高柳町等)87haの汚水を浅野ポンプ場へ中継

主要施設

上 屋	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 174.90㎡
汚水沈砂ポンプ井	内法 長さ4.5m×幅3.9m×有効水深0.8m	2池
主要機器		
汚水ポンプ	水中スクリュー汚水ポンプ 150mm×2.8m³/min×15kW	2台

汚	水	ポン	プ	水中スクリュー汚水ポンプ 150mm×2.8m³/min×15kW	2台
機	械	設	備	粗目スクリーン(手掻揚式)	1式
				活性炭吸着塔	1基
電	気	設	備	(低圧受配電設備 城北水質管理センターより送電)	1式

〔浅野雨水ポンプ場〕

操 業 開 始 平成18年6月

主要施設

上	鉄筋コンクリート造 地	下4階/地上3階	延面積 7,427.43㎡
主要機器			
雨水ポンフ	立軸渦巻斜流ポンプ	$1,350$ mm $\times 201$ m 3 /min $\times 1,400$ kW	4台
排水ポンプ	水中スクリュー式渦	巻ポンプ 250mm×7.0m³/min×75kW	2台
機械設備	自動除塵機		4基
	揚砂ポンプ(雨水系	沈砂)	4台
	沈砂及びし渣洗浄記	9. 分价	各1式
	沈砂及びし渣ホッパ	·	各1基
	活性炭吸着塔		1基
電気計装設備	高圧受配電設備(3.	3kV 城北水質管理センターより送電)	1式
	ディーゼル発電設備	制力 4,500kVA×3,300V	2台
	監視制御装置		(1組)
	(城北水質管理セ	ンターの分散型制御装置にて制御)	

3面

〔浅野第2ポンプ場〕

操 業 開 始 平成22年9月

主要施設

汚水沈砂ポンプ井	水路幅 1,000mm×深さ 5,200mm	2池
主要機器		
汚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ。 350mm×11m³/min×55kW	3台
機械設備	自動除塵機	2基
	しさ破砕機	1台
	揚砂装置	2基
	集砂装置	6基

汚水ポンプ制御盤

〔浅野ポンプ場系統滞水池〕

電気計装設備

操 業 開 始 平成27年4月

主要施設

上屋	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 375.94㎡
----	---------------------	-------------

(汚水沈砂池ポンプ設備)		
汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 250mm×5.31m³/min×15.0kW	3台
機械設備	粗目スクリーン	1台
	し渣破砕機	1台
	腐植質脱臭剤式脱臭装置	1基
(浅野2号幹線系)		
滞水池	内法 30.0m × 24.0m × 2.1m	1池
排水ポンプ	水中汚水ポンプ 150mm×2.09m³/min×7.5kW	2台
機械設備	自然通風型脱臭装置	1基
(浅野雨水ポンプ場系)		
滞水池	内法 36.0m × 5.0m × 10.5m	1池
	$25.0 \text{m} \times 24.0 \text{m} \times 6.9 \text{m}$	1池
排水ポンプ	水中汚水ポンプ 300mm×8.34m³/min×30.0kW	2台
機械設備	自然通風型脱臭装置	2基
電気計装設備	高圧受変電設備(3.3kV 城北水質管理センターより送電)	1式
	配電設備	1式
	監視制御装置	1式

(2) 西部水質管理センター

所 在 地 金沢市東力町ハ272番地

操業開始 昭和55年7月

主要施設

(共通	管理施	設)				
本	館	沈	砂	池	鉄筋コンクリート造 地下2階/地上4階	延面積5,644.23㎡
受	変		電	室	鉄骨造 1階建	延面積 155.80㎡
(水処	理施設	:)				
沈		砂		池	内法 12.2m × 2.5m × 0.9m	3池
最	初	沈	殿	池	内法 21.0m × 11.2m × 3.0m	5池
					内法 21.0m × 22.4m × 3.0m	2池
反	応	タ	ン	ク	内法 84.0m × 5.6m × 6.0m	10池
最	終	沈	殿	池	内法 35.0m × 24.0m × 3.0m	3池
					内法 35.0m × 11.2m × 3.0m	4池
塩	素	混	和	池	内法 156.0m × 3.0m × 3.0m	1池
放	流	ポン	ププ	棟	鉄筋コンクリート造 地下2階/地上2階	延面積2,219.68㎡
吸	排		気	棟	鉄筋コンクリート造 1階建	延面積 105.00㎡
(汚泥処理施設)						
重	力式港	污泥》	農縮を	ンク	内径 7.5m×3.0m	3基
加足	E浮上i	式汚》	尼濃縮	タンク	内径 14.0m×4.0m×2.5m	3基
汚	泥	濃	縮	棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積1,632.11㎡
汚	泥	処	理	棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上3階	延面積5,734.46㎡
汚	泥パ	イプ	輸送	棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上3階	延面積 703.35㎡
汚	泥	搬	送	棟	鉄骨造 1階建	延面積 170.76㎡
L	渣 タ	子 離	É 機	室	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 275.34㎡

沈砂掻揚洗浄設備	沈砂掻揚機	3基
	沈砂搬出機	1式
	沈砂洗浄機	1基
	自動除塵機	3基
	し渣搬出機	1式
	し渣洗浄機	1基
	沈砂し渣ホッパ	各1基

曝 気 用 送 風 機	多段ターホブロワー 300mm 95m³/min×6,500mmAq×170kW	2台
	$^{\prime\prime}$ 400mm $190 \text{m}^3 / \text{min} \times 6,500 \text{mmAq} \times 280 \text{kW}$	2台
汚 泥 掻 寄 機	初沈(メイン1基・クロス1基)×2水路/池	3基
	初沈(メイン1基)×2水路/池	2基
	初沈(メイン1基・クロス1基)×4水路/池	2基
	終沈(メイン1基・クロス1基)×2水路/池	2基
	終沈(メイン1基)×2水路/池	2基
	終沈(メイン1基・クロス1基)×4水路/池	3基
反応タンク撹拌機	嫌気槽撹拌機 1.5kW 2台/池×6池	計12台
曝 気 用 エアレーター	水中機械式曝気機 3台/池×4池	計12台
滅 菌 装 置	次亜塩貯留タンク 有効容量15.0m3/基	2基
	次亜塩注入機 可変容量式ダイヤフラムポンプ1.470/min	3台
放流ポンプ	立軸斜流ポンプ 450mm× 26m³/min× 60kW	2台
	立軸斜流ポンプ 700mm× 52m³/min×110kW	2台
	立軸斜流ポンプ 900mm×104m³/min×215kW	1台
汚 泥 濃 縮 設 備	フロス掻取機 走行台車型 40m³/h	3台
	重力式 直径 7.5m×3.0m	3台
汚 泥 脱 水 機	高効率スクリュープレス脱水機 360kg・DS/h/台	3台
汚 泥 乾 燥 機	間接加熱式 伝熱面積50m²	3台

電気計装設備

电双可交应师		
高圧受変電設備	6. 6kV高圧受変電設備	1式
	主要変圧器 1,500kVA	2台
自家用発電設備	ディーゼル発電設備 出力1,500kVA×3,300V	1台
	ッ 出力1,000kVA×3,300V	1台
監 視 制 御 設 備	分散型制御装置 現場電気室設置制御装置	1組
	集中型制御装置 中央監視室設置制御装置(LCD)	3組
	主記憶512Mバイト	
	補助記憶装置 (HDD=18.3Gバイト×2 FDD=1.44Mバイト	
	CD-ROM=700Mバイト)	
	遠方監視制御装置 汚水中継ポンプ場TM/TC	1組
情報処理装置	主CPU(2Gバイト)	1式
	補助記憶装置 (HDD=18.3Gバイト×2 FDD=1.44Mバイト	1式
	CD-ROM=700Mバイト)	
	プリンター他周辺装置	1式
エンジニアリング	主記憶 512Mバイト	1式
ワークステーション	補助記憶装置 (HDD=18.3Gバイト×2 FDD=1.44Mバイト	
	CD-ROM=700Mバイト MO=640Mバイト)	1式

(3) 臨海水質管理センター

所 在 地 金沢市湊3丁目5番地8

操業開始 平成6年10月

主要施設

管理様 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積2,121.41㎡ 電気 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積1,280.53㎡ (水処理施設) 長さ 幅 有効水深 た 砂 池 内法 11.5m× 1.4m× 0.62m 2池 人法 11.5m× 1.4m× 0.62m 4池 内法 18.43m× 6.1m× 3.0m 4池 内法 18.43m× 6.1m× 3.0m 4池 内法 18.43m× 6.1m× 5.0m 4池 内法 70.99m× 6.1m× 5.0m 4池 内法 37.2m× 6.1m× 3.0m 2池 内法 37.2m× 6.1m× 3.0m 2池 内法 37.2m× 12.2m× 3.0m 3池 12.2m× 3.0m 3池 13.3m× 11.4m× 2.0m 2池 大砂池・ボンブ 棟 鉄筋コンクリート造 地下3階/地上3階 延面積3,848.07㎡ 延面積1,442.78㎡ 近面積 596.75㎡ 返面 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積 596.75㎡ 返面積 405.45㎡ (汚泥処理施設) 汚 泥 濃 縮 タンク 内法 6.2m×3.5m	<u> </u>		
電 気 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積1,280.53㎡ (水処理施設) 長さ 幅 有効水深	(共通管理施設)		
(水処理施設) 長さ 幅 有効水深	管 理 棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積2,121.41㎡
大 砂 池 内法 11.5m × 1.4m × 0.62m 2池 内法 23.1m × 6.1m × 3.0m 4池 内法 18.43m × 6.1m × 3.0m 4池 内法 18.43m × 6.1m × 3.0m 4池 内法 18.43m × 6.1m × 5.0m 4池 内法 70.99m × 6.1m × 5.0m 4池 内法 37.2m × 6.1m × 3.0m 2池 内法 37.2m × 12.2m × 3.0m 3池 内法 37.2m × 12.2m × 3.0m 2池 大砂池・ポンプ棟 鉄筋コンクリート造 地下3階/地上3階 延面積3,848.07㎡ 近面積3,848.07㎡ 近面積1,442.78㎡ 延面積 596.75㎡ 接筋コンクリート造 地下1階/地上1階 延面積 596.75㎡ 延面積 405.45㎡ (汚泥処理施設) 汚泥 澱 縮 タンク 内法 6.2m × 3.5m 2基 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積 405.45㎡ 後機 被 濃 縮 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積 3,577.08㎡ 2基 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積3,577.08㎡ 2基 数形 化 タンク プレストレスコンクリート造 地下1階/地上2階 延面積1,709.29㎡ 表	電気棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積1,280.53㎡
最初沈殿池 内法 23.1m× 6.1m× 3.0m 4池 内法 18.43m× 6.1m× 3.0m 4池 内法 18.43m× 6.1m× 3.0m 4池 内法 66.35m× 6.1m× 5.0m 4池 内法 70.99m× 6.1m× 5.0m 4池 内法 70.99m× 6.1m× 5.0m 4池 内法 37.2m× 6.1m× 3.0m 2池 内法 37.2m× 12.2m× 3.0m 3池 3池 内法 13.3m× 11.4m× 2.0m 2池 狭筋コンクリート造 地下3階/地上3階 延而積3,848.07㎡ が ロ ワ 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積1,442.78㎡ 数値 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階 延面積 596.75㎡ 接 横 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階 延面積 405.45㎡ (汚泥処理施設) 汚 泥 濃 縮 タンク 内法 6.2m×3.5m 2基 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積3,577.08㎡ 機 棟 装筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積3,577.08㎡ 2基 教筋 2 2 2 3 2 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	(水処理施設)	 長さ 幅 有効水深	
内法	沈砂池	内法 11.5m × 1.4m × 0.62m	2池
反 応 タ ン ク 内法 66.35m × 6.1m × 5.0m 4池 内法 70.99m × 6.1m × 5.0m 4池 内法 70.99m × 6.1m × 5.0m 4池 内法 37.2m × 6.1m × 3.0m 2池 内法 37.2m × 12.2m × 3.0m 3池 塩素 混 和 池 内法 13.3m × 11.4m × 2.0m 2池 決筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積1,442.78㎡ が ロ ワ 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階 延面積 596.75㎡ 延面積 405.45㎡ (汚泥処理施設) 汚 泥 機 縮 タ ン ク 内法 6.2m×3.5m 2基	最 初 沈 殿 池	内法 23.1m × 6.1m × 3.0m	4池
内法 70.99m × 6.1m × 5.0m 4池 内法 37.2m × 6.1m × 3.0m 2池 内法 37.2m × 12.2m × 3.0m 3池 塩素混和池 内法 13.3m × 11.4m × 2.0m 2池 決勝コンクリート造 地下3階/地上3階 延面積3,848.07㎡ 延面積3,848.07㎡ 延面積 596.75㎡ 延面積 596.75㎡ 返面積 596.75㎡ 返面積 596.75㎡ 返面積 596.75㎡ 返面積 405.45㎡ 返面積 405.45㎡ 返面積 405.45㎡ 返面積 405.45㎡ 返面積 596.75㎡ 返面積 405.45㎡ 返面積 405.45㎡ 返面積 596.75㎡ 返面積 405.45㎡ 返面積 596.75㎡ 返面積 405.45㎡ 返面積 596.75㎡ 返面積 405.45㎡ 返面積 405.45㎡ 返面積 596.75㎡ 返面積 405.45㎡ 返面積 596.75㎡ 返面積 405.45㎡ 返面積 596.75㎡ 返面積 596.75㎡		内法 18.43m × 6.1m × 3.0m	4池
最終沈殿池 内法 37.2m× 6.1m× 3.0m 2池 内法 37.2m× 12.2m× 3.0m 3池 塩素混和池 内法 13.3m× 11.4m× 2.0m 2池 決砂池・ポンプ棟 鉄筋コンクリート造 地下3階/地上3階 延面積3,848.07㎡ 延面積1,442.78㎡ 接筋コンクリート造 地下1階/地上1階 延面積 596.75㎡ 接筋コンクリート造 地下1階/地上1階 延面積 405.45㎡ (汚泥処理施設) 汚泥濃縮タンク 内法 6.2m×3.5m 2基 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上4階 延面積3,577.08㎡ 機械濃縮棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上4階 延面積3,577.08㎡ 延面積3,577.08㎡ 大泥 砂濃縮棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積3,577.08㎡ 延面積1,709.29㎡ 外形消化タンク プレストレスコンクリート造 地下1階/地上2階 延面積1,709.29㎡ が 形消化タンク プレストレスコンクリート造 内径18.5m×高さ26.8m 3,800m³ 2基 乾式低圧ガスホルダー 内径15.5m×18.6m 2,500m³ 1基	反応タンク	内法 66.35m × 6.1m × 5.0m	4池
内法 37.2m × 12.2m × 3.0m 3池 内法 13.3m × 11.4m × 2.0m 2池 大砂池・ポンプ 棟 鉄筋コンクリート造 地下3階/地上3階 延面積3,848.07㎡ が ロ ワ 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積 596.75㎡ 延面積 405.45㎡ (汚泥処理施設) 汚 泥 濃 縮 タンク 内法 6.2m×3.5m 2基 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積3,577.08㎡ 機 械 濃 縮 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積3,577.08㎡ が 水 渡 が か が が か か か か か か か か か か か か か か か		内法 70.99m × 6.1m × 5.0m	4池
塩 素 混 和 池 内法 13.3m × 11.4m × 2.0m 2池 鉄筋コンクリート造 地下3階/地上3階 延面積3,848.07㎡ ブロワ 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積 596.75㎡ 返面積 596.75㎡ 該 菌 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階 延面積 405.45㎡ (汚泥処理施設) 内法 6.2m×3.5m 2基 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上4階 延面積3,577.08㎡ 機 械 濃 縮 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上4階 延面積3,577.08㎡ 残筋 型 型 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積1,709.29㎡ 形 消 化 タン ク プレストレスコンクリート造 地下1階/地上2階 延面積1,709.29㎡ 2基 乾式低圧ガスホルダー 内径18.5m×高さ26.8m 3,800㎡ 2基 乾式低圧ガスホルダー 内径15.5m×18.6m 2,500㎡ 1基 乾式低圧ガスホルダー 内径14.5m×15.3m 1,500㎡ 1基	最終沈殿池	内法 37.2m × 6.1m × 3.0m	2池
 沈砂池・ポンプ棟 対筋コンクリート造 地下3階/地上3階 延面積3,848.07㎡ 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積 596.75㎡ 滅菌棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階 延面積 405.45㎡ (汚泥処理施設) 汚泥処理棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上4階 延面積 3,848.07㎡ 延面積 596.75㎡ 延面積 405.45㎡ (汚泥処理施設) 汚泥処理棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上4階 延面積3,577.08㎡ 2基 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積1,709.29㎡ が正額1,709.29㎡ が正低圧ガスホルダー 内径18.5m×高さ26.8m 3,800㎡ 2基 乾式低圧ガスホルダー 内径18.5m×18.6m 2,500㎡ 1基 乾式低圧ガスホルダー 内径14.5m×15.3m 1,500㎡ 基 数交換器棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上6階 延面積1,478.00㎡ 		内法 37.2m × 12.2m × 3.0m	3池
 ブロワ棟 鉄筋コンクリート造地下1階/地上2階 延面積1,442.78㎡ 鉄筋コンクリート造地下1階/地上1階 延面積 596.75㎡ 鉄筋コンクリート造地下1階/地上1階 透面積 405.45㎡ (汚泥処理施設) 汚泥処理棟鉄 機械濃縮棟、鉄筋コンクリート造地下1階/地上4階 乗筋コンクリート造地下1階/地上2階 乗が筋コンクリート造地下1階/地上2階 乗が筋コンクリート造地下1階/地上2階 乗が筋コンクリート造地下1階/地上2階 が正積1,709.29㎡ が正積1,709.29㎡ 立面積1,709.29㎡ 立面積1,709.29㎡ 立面積1,709.29㎡ 立面積1,709.29㎡ 立場では圧ガスホルダー内径18.5m×高さ26.8m 3,800㎡ 大型は低圧ガスホルダー内径15.5m×18.6m 2,500㎡ 大型は低圧ガスホルダー内径14.5m×15.3m 1,500㎡ 基式低圧ガスホルダー内径14.5m×15.3m 1,500㎡ 株式低圧ガスホルダー内径14.5m×15.3m 1,500㎡ 株式低圧ガスホルダー内径14.5m×15.3m 1,500㎡ 	塩 素 混 和 池	内法 13.3m × 11.4m × 2.0m	2池
 み 過 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階 ※筋コンクリート造 地下1階/地上1階 ※筋コンクリート造 地下1階/地上1階 ※面積 596.75㎡ ※面積 405.45㎡ ※面積 3,577.08㎡ ※鉱面積1,709.29㎡ が ス タ ン ク が ス タ ン ク ・ 対 ス タ シ タ タ タ	沈砂池・ポンプ棟	鉄筋コンクリート造 地下3階/地上3階	延面積3,848.07㎡
滅 菌 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階 延面積 405.45㎡ (汚泥処理施設) 汚 泥 濃 縮 タ ン ク 内法 6.2m×3.5m 2基 汚 泥 処 理 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上4階 延面積3,577.08㎡ 機 械 濃 縮 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 卵 形 消 化 タ ン ク プレストレスコンクリート造 内径18.5m×高さ26.8m 3,800m³ 2基 ガ ス タ ン ク 乾式低圧ガスホルダー 内径15.5m×18.6m 2,500m³ 1基 乾式低圧ガスホルダー 内径14.5m×15.3m 1,500m³ 1基 整式低圧ガスホルダー 内径14.5m×15.3m 1,500m³ 1基 数 交 換 器 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上6階 延面積1,478.00㎡	ブロワ棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積1,442.78㎡
 (汚泥処理施設) 汚泥 濃 縮 タンク 内法 6.2m×3.5m 機 械 濃 縮 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上4階 延面積3,577.08㎡ 延面積1,709.29㎡ 卵形 消 化 タンク プレストレスコンクリート造 内径18.5m×高さ26.8m 3,800㎡ 立 ウ 東式低圧ガスホルダー 内径15.5m×18.6m 2,500㎡ 素 交 換 器 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上6階 延面積1,478.00㎡ 	ろ過棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 596.75㎡
汚泥濃縮タンク内法 6.2m×3.5m2基汚泥処理棟鉄筋コンクリート造地下1階/地上4階延面積3,577.08㎡機械濃縮棟鉄筋コンクリート造地下1階/地上2階延面積1,709.29㎡卵形消化タンクガストレスコンクリート造内径18.5m×高さ26.8m 3,800m³2基ガスタンクウストレスコンクリート造内径15.5m×18.6m 2,500m³1基乾式低圧ガスホルダー内径15.5m×18.6m 2,500m³1基熱交換器棟鉄筋コンクリート造地下1階/地上6階延面積1,478.00㎡	滅 菌 棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 405.45㎡
 汚 泥 処 理 棟 機 械 濃 縮 棟 野 形 消 化 タ ン ク ガ ス タ ン ク 軟 式低圧ガスホルダー 内径15.5m×18.6m 2,500m³ 熱 交 換 器 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階 延面積1,709.29㎡ 延面積1,709.29㎡ 工 力 並 直積1,709.29㎡ 立 本 	(汚泥処理施設)		
機 械 濃 縮 棟鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階延面積1,709.29㎡卵 形 消 化 タ ン クプレストレスコンクリート造 内径18.5m×高さ26.8m 3,800m³2基ガ ス タ ン ク乾式低圧ガスホルダー 内径15.5m×18.6m 2,500m³1基乾式低圧ガスホルダー 内径14.5m×15.3m 1,500m³1基熱 交 換 器 棟鉄筋コンクリート造 地下1階/地上6階延面積1,478.00㎡	汚泥濃縮タンク	内法 6.2m×3.5m	2基
卵 形 消 化 タ ン ク プレストレスコンクリート造 内径18.5m×高さ26.8m 3,800m³ 2基 ガ ス タ ン ク 乾式低圧ガスホルダー 内径15.5m×18.6m 2,500m³ 1基 乾式低圧ガスホルダー 内径14.5m×15.3m 1,500m³ 1基 熱 交 換 器 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上6階 延面積1,478.00㎡	汚 泥 処 理 棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上4階	延面積3,577.08㎡
ガ ス タ ン ク 乾式低圧ガスホルダー 内径15.5m×18.6m 2,500m³ 1基 乾式低圧ガスホルダー 内径14.5m×15.3m 1,500m³ 1基 熱 交 換 器 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上6階 延面積1,478.00㎡	機械濃縮棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上2階	延面積1,709.29㎡
熱 交 換 器 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上6階 延面積1,478.00㎡	卵形消化タンク	プレストレスコンクリート造 内径18.5m×高さ26.8m 3,800m ³	2基
熱 交 換 器 棟 鉄筋コンクリート造 地下1階/地上6階 延面積1,478.00㎡	ガスタンク	乾式低圧ガスホルダー 内径15.5m×18.6m 2,500m ³	1基
72.12.7		乾式低圧ガスホルダー 内径14.5m×15.3m 1,500m ³	1基
し 渣 処 理 棟 鉄骨造 1階建 延面積 69.62㎡	熱交換器棟	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上6階	延面積1,478.00㎡
	し 渣 処 理 棟	鉄骨造 1階建	延面積 69.62㎡

汚水ポンプ	立軸槽外渦巻斜流ポンプ	
	$300 \text{mm} \times 10.0 \text{m}^3 / \text{min} \times 55 \text{kW}$	3台
	400 mm $\times 20.0$ m 3 /min $\times 110$ kW	1台
沈砂掻揚洗浄設備	沈砂掻揚機	2基
	沈砂搬出機	1式
	沈砂洗浄機	1基
	自動除塵機	2基
	し渣搬出機	1式
	し渣洗浄機	1基
	沈砂し渣ホッパ	2基
曝 気 用 送 風 機	単段歯車増速ブロワー	
	250 mm 52 m $^3/$ min \times 6,000mm A q \times 90k W	2台
	$300 \texttt{mm} 115 \texttt{m}^3 / \texttt{min} \times 6,200 \texttt{mm} \\ \texttt{Aq} \times 170 \texttt{kW}$	2台

汚 泥 掻 寄 機	初沈(メイン1基)×8池	計8台
	終沈(メイン1基)×2池	
	終沈(メイン1基・クロス1基)×3池	計8台
反応タンク撹拌機	嫌気槽撹拌機 0.75kW 1台/池×2池	
	嫌気槽撹拌機 1.5kW 4台/池×1池	計6台
曝 気 用エアレーター	水中機械式曝気機 4台/池×2池	計8台
滅 菌 装 置	次亜塩貯留タンク 有効容量9.6m3/基	2基
	次亜塩注入機 可変容量式ダイヤフラムポンプ 1.1250/min	2台
汚 泥 濃 縮 設 備	重力式濃縮槽汚泥掻寄機	2基
汚泥濃縮機	遠心濃縮機 20m³/h	2基
	ベルト濃縮機 20m ³ /h	1基
加温用熱交換器	スパイラル式 2,200MJ/h	2基
加温用温水器	横形炉筒煙管式 2,500MJ/h	2基
汚 泥 脱 水 設 備	ベルトプレス脱水機 90kg・DS/m・h×3.0m	1台
	スクリューフ°レス脱水機 270kg·DS/h	1台
	<i>"</i> 235kg•DS∕h	1台
砂ろ過設備	上向流式砂ろ過器 450m ³ /日・基	6基
精製消化ガス供給設備	吸収塔	2基
	消化ガス圧縮機ユニット 100Nm³/h	1式
	冷凍機ユニット 100Nm ³ /h 2.72RT	1式
	熱調器ユニット 100Nm ³ /h	1式

電気計装設備

高圧受変電設備	6.6kV高圧受変電設備	1式
自家用発電設備	ガスタービン発電設備 出力1,000kVA×6,600V	1台
監 視 制 御 設 備	分散型制御装置 現場電気室設置制御装置	4組
	中央監視室設置制御装置(LCD)	4組
	汚泥処理棟監視室設置制御装置(LCD)	1組
	遠方監視制御装置 汚水中継ポンプ場TM/TC	(3組)
情報処理装置	主CPU(8GB)	1式
	補助記憶装置(RAID1ホットスワップミラード500GB)	1式
	プリンター他周辺装置	1式

(4) 湯涌水質管理ステーション

所 在 地 金沢市湯涌荒屋町16番地

操業開始 平成13年4月

主要施設

スクリー:	ン・棟	鉄筋コンクリート造 1階建	延面積	29.67 m²
機械	棟	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階/地上1階	延面積	$410.36\mathrm{m}^2$

処理施設

ĺ							長さ	幅	有効水深	
	オキ	シテ゛	ーショ	ンテ゛ィ	(ッチ	内法	50.0m $ imes$	4.0m \times	3.0m ∼4.0m	1池
ı	最	終	沈	殿	池	内法	ϕ 8.5m $ imes$		3.5m	1池
ı	塩	素	混	和	池	内法	13m $ imes$	1.0m \times	1.1m	1池
ı	汚	泥	濃	縮	槽	内法	ϕ 3.0m $ imes$		4.0m	1槽
l	汚	泥	貯	留	槽	内法	$4.0 \mathrm{m}~ imes$	$3.0 \mathrm{m} \times$	4.0m	1槽

主要機器

機	械	設	備	細目スクリーン(自動)		1台
				曝気装置		2式
				接触曝気装置		1式
				終沈汚泥掻寄機		1基
				活性炭吸着塔		1基
電	気	設	備	受変電設備	$6,600V \times 150$ kVA	1式
				ディーゼル発電設備	出力 80kVA	1式

(5) 七ッ屋ポンプ場

所 在 地 金沢市七ッ屋町二16番地1

操業開始 昭和44年4月

流入区域 1,167haのうち堀川町、七ッ屋町、北安江町等342haの雨水は浅野川へ

放流し、犀川・浅野川に囲まれた中央市街地の汚水は城北水質管理セン

ターへ中継

主要施設

Ī	上	屋		建	築	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積1,125.24㎡
	雨	水	沈	砂	池	内法 11.5m×6.0m×2.1m	2池
	汚	水	沈	砂	池	内法 11.5m×3.2m×2.1m	4池

主要機器

雨	水	ポン	プ	立軸斜流ポンプ 1,500mm×330m ³ /min×3151	xW 1台
				" $1,000 \text{mm} \times 140 \text{m}^3 / \text{min} \times 145 \text{m}^3$	xW 2台
汚	水	ポン	プ	立軸斜流ポンプ 600mm×42.2m ³ /min×125l	kW 2台
				" $500 \text{mm} \times 34.8 \text{m}^3 / \text{min} \times 90 \text{k}$	W 3台
機	械	設	備	自動除塵機	7基
				汚水沈砂掻揚機	3基
				雨水揚砂設備	2基
				沈砂及びし渣洗浄設備	各1式
				沈砂及びし渣ホッパ	各1基
電	気 計	装 設	備	高圧受配電設備(3.3kV 城北水質管理センターより送	電) 1式
				監視制御装置	(1組)
				(城北水質管理センターの分散型制御装置にて制	引御)

(6) 駅西汚水中継ポンプ場

所 在 地 金沢市北安江4丁目10番1号

操業開始 昭和51年5月

流入区域 上諸江処理分区(北安江町、西念町、二口町、長田本町等)80haの汚水を

城北水質管理センターへ中継

主要施設

上	屋	建	築	鉄筋コンクリート造 地下1階/地上1階	延面積 9.68㎡
汚	水	沈砂	池	内法 長さ3.0m×幅2.5m×有効水深0.3m	2池

主要機器

汚	水	ポン	プ	水中汚水ポンプ 200mm×2.9m³/min×18.5kW	3台
機	械	設	備	粗目スクリーン(手掻揚式)	1式
				活性炭吸着塔	1基
電	気	設	備	低圧受配電設備	1式

(7) 小橋汚水中継ポンプ場

所 在 地 金沢市瓢箪町12番29号

操業開始 昭和63年4月

流入区域 城東第2処理分区(宝町、旭町、桜町、材木町、彦三町1丁目等)285.5haの

汚水を浅野ポンプ場へ中継

主要施設

上 屋	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積 89.32㎡
汚水沈砂ポンプ井	内法 長さ6.8m×幅7.2m×有効水深2.9m	1池

主要機器

汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 250mm×6.4m³/min×18.5kW	3台
機械設備	粗目スクリーン(手掻揚式)	1式
	し渣破砕機	1台
	活性炭吸着塔	1基
電 気 設 備 計 装	低圧受配電設備	1台
	遠方監視装置 TM(城北水質管理センターにて遠方監視)	1組

(8) 乙丸第一汚水中継ポンプ場

所 在 地 金沢市乙丸町甲161番地

操業開始 昭和53年11月

流入区域 浅野第2処理分区(小坂町、三池町、春日町、神宮寺町等)94.7haの

汚水を浅野ポンプ場へ中継

主要機器

上				屋	鉄筋コン	ノクリート造 地下1階/地上1階	延面積	$23.1\mathrm{m}^2$
汚	水	沈	砂	池	内法	長さ3.5m×幅2.0m×有効水深0.3m		2池

主要施設

汚	水	ポン	プ	水中汚水ポンプ 200mm×4.4m³/min×7.5kW	3台
機	械	設	備	粗目スクリーン(手掻揚式)	1式
				活性炭吸着塔	1基
電	戾	設	備	低圧受配電設備	1式

(9)上諸江汚水中継ポンプ場

所 在 地 金沢市駅西新町2丁目15番地1

操業開始 昭和59年4月

流入区域 駅西処理分区(西念町、諸江町、若宮町、北町等)406haの汚水を

城北水質管理センターへ中継

主要施設

上 屋	鉄筋コンクリート造 地下2階/地上2階	延面積2,189.87㎡
汚 水 沈 砂 池	内法 長さ10.0m×幅1.9m×有効水深1.0m	2池

主要機器

	1/96 1111				
汚	水ポ	ン	プ	立軸槽外渦巻斜流ポンプ 350mm×15.3m³/min×100kW	2台
機	械	設(備	自動除塵機	2基
				し渣洗浄設備	1式
				沈砂掻寄機及び揚砂ポンプ	各2組
				沈砂洗浄設備	1式
				沈砂及びし渣ホッパ	各1基
				活性炭吸着塔	1基
電	気	設(備	高圧受配電設備 6.6kV	1式
				変圧器 6.6kV 500kVA	1台
				デイーゼル発電設備 出力625kVA×6. 6kV	1台
				遠方監視制御装置TM/TC	1組
				(城北水質管理センターにて遠方監視)	

(10) 横枕汚水中継ポンプ場

所 在 地 金沢市横枕町ハ16番地

操業開始 平成元年4月

流入区域 柳橋処理分区(横枕町、小坂町、御所町、山王町1~2丁目等)362haの

汚水を城北水質管理センターへ中継

主要施設

上屋	鉄筋コンクリート造 地下2階/地上2階	延面積1,689.02㎡
汚 水 沈 砂 池	内法 長さ7.0m×幅1.2m×有効水深0.4m	2池

主 要 機 哭

王安	機 츎						
汚	水	ポン	プ	立軸槽外渦巻斜流	たポンプ 200mm	$\times 4.5 \text{m}^3 / \text{min} \times 45 \text{kW}$	2台
				IJ	250mm	$\times 6.8 \text{m}^3 / \text{min} \times 75 \text{kW}$	1台
機	械	設	備	自動除塵機			2基
				し渣洗浄脱水設備			1式
				沈砂掻揚機			2基
	沈砂洗浄装置 沈砂及びし査ホッパ					1式	
						各1基	
				活性炭吸着塔			1式
電	気 計	装 設	備	高圧受配電設備	6. 6kV(2回線受	電)	1式
				変圧器	6. 6kV/400V	200kVA	1台
				<i>II</i>	6. 6kV/200V	100kVA	1台
		遠方監視制御装置TM/TC				1組	
	(城北水質管理センターにて遠方監視)						

(11)高畠汚水中継ポンプ場

所 在 地 金沢市高畠3丁目289番地

操業開始 昭和60年4月

流入区域 西部処理区第8分区(高畠1丁目、玉鉾2丁目、米丸町、間明1丁目)99haの

汚水を西部水質管理センターへ中継

施 設

上				屋	鉄筋コンクリート造 2階建	延面積	$473.36\mathrm{m}^2$
汚	水	沈	砂	池	内法 長さ9.0m×幅1.0m×有効水深0.4m		1池

主要機器

汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 250mm×7.0m³/min×30kW	2台
機械設備	自動除塵機	1基
	し渣洗浄設備	1式
電気計装設備	高圧受配電設備 6.6kV	1式
	変圧器 6.6kV 110kVA	1台
	ディーゼル発電機 出力150kVA×210V	1台
	遠方監視装置 TM/TC	1組
	(西部水質管理センターにて遠方監視)	

(12) 粟崎第一汚水中継ポンプ場

所 在 地 金沢市粟崎町リ54番地

操業開始 平成6年10月

流入区域 臨海処理区、第1分区(粟崎町、粟崎町1~4丁目)127haの汚水を臨海

水質管理センターへ中継

施 設

上			屋	鉄筋コンクリート造 地下2階/地上2階	延面積	$446.92\mathrm{m}^2$
汚	水 沈	砂	池	内法 長さ8.35m×幅1.0m×有効水深0.4m		1池

主要機器

汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 150mm×2.6m³/min×15kW	3台
機械設備	自動除塵機	1基
	し渣脱水設備	1式
	脱臭設備 (10m³/min)	1式
電気計装設備	低圧受配電設備	1式
	ディーゼル発電機 出力100kVA×220V	1台
	遠方監視装置 TM/TC	1組
	(臨海水質管理センターにて遠方監視)	

(13) 大浦汚水中継ポンプ場

所 在 地 金沢市東蚊爪町91番地

操業開始 平成9年12月

流 入 区 域 臨海処理区(第3分区一部、第7~12分区)917.5haの汚水を臨海水質

管理センターへ中継

施 設

上				屋	鉄筋コンクリート造 地下2階/地上2階	延面積 2,322.65㎡
汚	水	沈	砂	池	内法 長さ9.1m×幅1.65m×有効水深0.95m	2池

主要機器

工 安 1% 167			
汚水ポンプ	水中汚水ポンプ	200mm×5.4m³/min×55kW	2台
	n :	300 mm $\times 9.5$ m 3 /min $\times 75$ kW	1台
	n :	200 mm $\times 5.8$ m 3 /min $\times 37$ kW	1台
機械設備	自動除塵機		2基
	沈砂ホッパ		1基
	沈砂洗浄設備		1式
	脱臭設備 (30m ³ /	min)	1式
電気計装設備	高圧受配電設備	6.6kV(2回線受電)	1式
	変圧器	6.6kV/400V 300kVA	1台
		6.6kV/400V 200kVA	1台
		6.6kV/200V 150kVA	1台
	遠方監視装置 TM	T/TC	1組
	(臨海水質管理	センターにて遠方監視)	

(14) 木越汚水中継ポンプ場

所 在 地 金沢市みずき3丁目284番地

操業開始 平成13年12月

流 入 区 域 臨海処理区(第8分区一部、第9~12分区)644.5haの汚水を大浦汚水

中継ポンプ場へ中継

施 設

上				屋	鉄筋コンクリート造 地下2階/地上1階	延面積 780.11㎡
汚	水	沈	砂	池	内法 長さ6.5m×幅1.2m×有効水深0.5m	2池

主要機器

汚水ポンプ	水中汚水ポンプ 250mm×7.8m³/min×30kW	2台
	″ 250mm×5.3m³∕min×15kW	1台
機械設備	自動除塵機	2基
	脱臭設備 (12m³/min)	1式
電気計装設備	高圧受配電設備 6.6kV(2回線受電)	1式
	変圧器 6.6kV 200kVA	1台
	遠方監視装置 TM/TC	1組
	(臨海水質管理センターにて遠方監視)	

1組

1台

1組

(15) 高畠雨水ポンプ場

所 在 地 金沢市高畠3丁目290番地

操業開始 平成13年8月

施 設

,,,,				
上		屋	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造2階建	延面積 454.66㎡
主 要	機器			
雨	水ポン	プ	先行待機形立軸軸流ポンプ 900mm× 109.2m ³ /min×90kW	2台
機	械 設	備	自動除塵機	2基
電	気 計 装 設	備	高圧受配電設備 6.6kV	1式
			変圧器 6.6kV 300kVA	1台
			ガスタービン発電設備 出力 300kVA×420V	1台

遠方監視制御装置 TM/TC(内水整備課にて遠方監視)

(16) 戸板雨水ポンプ場

所 在 地 金沢市示野中町2丁目77番地

操業開始 平成13年8月

施 設

上	屋	鉄骨造2階建	延面積 301.76㎡
主要機器			
雨水ポン	プ	先行待機形立軸軸流ポンプ800㎜× 71.1m³/min×45kW	2台
機械設	備	自動除塵機	2基
電 気 計 装 設	備	高圧受配電設備 6.6kV	1式
		変圧器 6.6kV 200kVA	1台
		ガスタービン発電設備 出力225kVA×210V	1台
		遠方監視制御装置 TM/TC(内水整備課にて遠方監視)	1組

(17) 古府雨水ポンプ場

所 在 地 金沢市古府町2丁目4番地

操 業 開 始 平成16年4月

施 設

	上 屋	鉄筋コンクリート造2階建	延面積 1,619.64㎡
	主要機器		
	雨水ポンプ	先行待機形立軸斜流ポンプ900mm×109.8m3/min×368kW	3台
ı	機械設備	自動除塵機	2基
ı	電気計装設備	高圧受配電設備 6.6kV	1式
ı		変圧器 6.6kV 200kVA	1台

遠方監視制御装置 TM/TC(内水整備課にて遠方監視)

ディーゼル発電設備 出力150kVA

(18) 保古雨水ポンプ場

所 在 地 金沢市保古3丁目183番地1

操業開始 平成16年4月

施 設

上 屋	鉄筋コンクリート造2階建	延面積	1,390.72 m²
--------	--------------	-----	-------------

主要機器

雨水ポンプ	先行待機形立軸斜流ポンプ1,000mm× 146.4m ³ /min×537kW	3台
機械設備	自動除塵機	3基
電 気 計 装 設 備	高圧受配電設備 6.6kV	1式
	変圧器 6.6kV 300kVA	1台
	ディーゼル発電設備 出力200kVA	1台
	遠方監視制御装置 TM/TC(内水整備課にて遠方監視)	1組

(19) 湊雨水ポンプ場

所 在 地 金沢市湊1丁目18番地4

操 業 開 始 平成16年4月

施 設

<u>上</u> <u> </u>

主要機器

雨水ポンプ	立軸斜流ポンプ1,200mm×159.0m³/min×220kW	2台
機械設備	自動除塵機	1基
電気計装設備	低圧受配電設備 200V 47kW	1式
	ディーゼル発電設備 出力62.5kVA	1台
	遠方監視制御装置 TM/TC(内水整備課にて遠方監視)	1組

5 事業の概要

(1)事業実績

	項目	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	行政区域内人口(住基台帳人口)A	人	453,570	452,844	451,817	450,592
善	排水区域内人口(公共)(")B	"	443,818	443,453	442,523	441,401
	排水区域内人口(農村)(")B'	"	_	_	4,347	4,032
及	市街地面積	ha	6,318	6,318	6,318	6,318
	排水区域面積(公共)	"	8,372	8,379	8,394	8,443
状	排水区域面積(農村)	"	_		259	259
1/	普 及 率(公共) B/A	%	97.8	97.9	97.9	98.0
,,,	普 及 率 (B+B')/A	11		ĺ	98.9	98.9
況	水 洗 化 戸 数(公共)	戸	141,590	143,205	144,924	146,569
	水 洗 化 率(公共)	%	96.6	96.9	97.2	97.4
	処 能 晴天時一日最大処理量(公共)	m^3/H	291,950	291,950	289,850	289,850
施	理 力 雨天時最大処理量(公共)	"	404,950	404,950	402,850	402,850
設	管 渠 の 延 長(公共)	m	2,260,242	2,263,520	2,266,105	2,272,792
	管 渠 の 延 長(農村)	"	_		72,865	72,865
	年間総処理水量(公共)	m³/年	67,182,397	70,028,425	66,945,219	64,723,839
	年間汚水処理水量(公共) C	11	62,675,610	62,431,425	61,744,495	60,870,924
業	年間雨水処理水量(公共)	"	4,506,787	7,597,000	5,200,724	3,852,915
	一日最大処理量(公共)	m^3/\boxminus	277,926	321,287	298,924	277,403
	一日平均処理量(公共)	"	184,061	191,859	183,411	176,842
務	年間有収汚水量(公共) D	m³/年	52,201,819	52,691,163	51,682,053	51,376,484
	用水道汚水量	"	46,570,743	47,047,310	46,215,328	46,020,849
	途二井戸汚水量	"	5,361,009	5,383,948	5,206,604	5,095,100
量	別 公衆浴場汚水量	"	270,067	259,905	260,121	260,535
	年間有収汚水量(農村)	m³/年		_	405,481	396,106
	年間有収率(公共) D/C	%	83.3	84.4	83.7	84.4
糸	总 収 益	千円	16,979,764	16,921,860	16,911,564	16,777,349
糸	費 用	"	15,829,700	15,681,885	15,808,993	15,649,587

(2)下水処理水量

年度	_	処理場	城北	西部	臨海	小規模	農集	湯涌	犀川左岸	合 計
	年間	間総処理水量	34,751,615	17,076,025	10,833,567		_	96,277	7,270,941	70,028,425
29		汚水処理水量	29,068,600	15,905,240	10,503,605	1	_	88,330	6,865,650	62,431,425
		雨水処理水量	5,683,015	1,170,785	329,962	ı	_	7,947	405,291	7,597,000
	年『	間総処理水量	32,558,672	16,629,525	10,728,564	10,808	480,605	96,729	6,931,729	67,436,632
30		汚水処理水量	28,675,130	15,824,210	10,482,435	10,622	445,263	89,060	6,673,660	62,200,380
		雨水処理水量	3,883,542	805,315	246,129	186	35,342	7,669	258,069	5,236,252
	年『	間総処理水量	31,639,375	15,703,896	10,716,735	10,304	397,390	95,026	6,568,807	65,131,533
元		汚水処理水量	28,741,248	15,126,780	10,537,506	10,138	373,389	89,304	6,376,086	61,254,451
		雨水処理水量	2,898,127	577,116	179,229	166	24,001	5,722	192,721	3,877,082

(3)終末処理場の水質検査結果

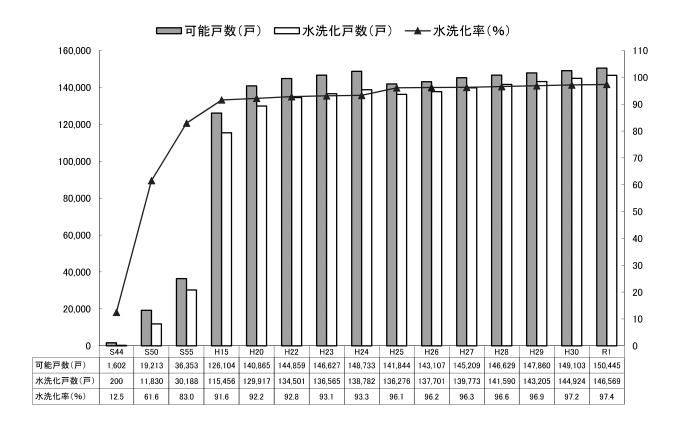
令和元年度実績

(3)終末処理場 ~				14114501	. Ln zm +L-=n	元 去0 1. 6	n zm.+/-=n.		上年度実績
	施設名	城北第1水			T		D.理施設		0.理施設
試験項目		流入水	放流水	流入水	放流水	流入水	放流水	流入水	放流水
気温	(℃)	16.9	16. 9	16. 9	16. 9	18. 7	18. 7	15. 7	15. 7
水温	(℃)	20.8	20.8	20. 2	20.4	20.6	21. 2	21.4	22. 2
透視度	(cm)	6	93	12	92	4	82	5	97
PH		7. 5	7. 3	7. 3	7. 3	7. 5	7. 0	7.4	7.4
BOD	(mg/ℓ)	130	2.9	110	4.9	210	4.8	180	2. 9
SS	(mg/ℓ)	150	2. 1	120	2.2	210	4.3	140	2. 1
COD	(mg/ℓ)	110	9.4	89	11	160	11	140	12
大腸菌群数	(個/ml)	100×10^3	40	80×10^3	0	130×10^3	20	120×10^{3}	10
n-ヘキサン抽出物質	(mg/ℓ)	15	<0.5	11	<0.5	17	<0.5	15	<0.5
全窒素	(mg/ℓ)	54	23	33	19	43	18	44	28
全リン	(mg/ℓ)	8.6	0.9	3. 4	0.6	5.0	0. 75	6.6	0.72
アンモニア性窒素	(mg/ℓ)	37	20	23	16	29	16	33	25
フェノール類	(mg/ℓ)	0.2	<0.1	0.1	<0.1	0.3	<0.1	0.2	<0.1
銅	(mg/ℓ)	0.02	<0.01	0.02	<0.01	0.03	<0.01	0.02	<0.01
亜鉛	(mg/ℓ)	0.06	0.03	0.05	0.03	0.08	0.03	0.07	0.03
溶解性鉄	(mg/ℓ)	0.21	0.04	0.30	0.10	0.21	0.06	0.51	0.10
溶解性マンガン	(mg/ℓ)	0.03	0.02	0.06	0.02	0.03	0.02	0.06	0.03
全クロム	(mg/ℓ)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
カドミウム	(mg/ℓ)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
シアン	(mg/ℓ)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
 有機リン	(mg/ℓ)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
 鉛	(mg/ℓ)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム	(mg/ℓ)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ヒ素	(mg/ℓ)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
総水銀	(mg/ℓ)	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀	(mg/ℓ)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
PCB	(mg/ℓ)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	(mg/ℓ)		<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	(mg/Q)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
シ゛クロロメタン	(mg/ℓ)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	(mg/ℓ)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン	(mg/ℓ)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
1, 1-ジクロロエチレン	(mg/Q)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
シス-1, 2-ジクロロエチレン	(mg/Q)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1, 1, 1ートリクロロエタン	(mg/Q)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
1, 1, 2-トリクロロエタン	(mg/l)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
1, 3-ジクロロプロペン	(mg/l)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-ジオキサン	(mg/l)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
チウラム	(mg/l)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
シマジン	(mg/ℓ)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	(mg/ℓ)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	(mg/ℓ)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
セレン	(mg/l)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
 ほう素	(mg/l)	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
 ふっ素	(mg/l)	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2
アンモニア、アンモニウム化合物、	(mg/l)	14	8. 2	9. 1	7. 1		6. 5		9.8
亜硝酸化合物、及び硝酸化合物	(mg/v)	14	0. 4	J. 1	1.1	11	υ. υ	14	9.0

6 下水道の普及促進

(1) 水洗化の状況

公共下水道の供用が開始された区域では、区域内の土地の下水を公共下水道に流入させるための施設の 設置や、汲み取り便所を水洗便所に改造することが下水道法によって義務付けられています。



(2) 水洗化普及促進対策

金沢市では、未接続家屋に対する水洗化の調査指導を行っているほか、水洗便所への改造資金の融資制度などにより水洗化の普及促進を図っています。

1. 普及促進指導対策

未接続家屋に対する指導

処理区域内の未接続家屋に対して、職員が戸別訪問により実態を調査し、それをもとに水洗化への 勧奨・指導を行っています。

2. 普及促進支援対策

[水洗便所改造資金融資制度]

し尿を公共下水道又は農村下水道に排除するために便所を改造する場合、その工事資金を融資する制度

- 無 利 子
- 融資限度額70万円
- ・ 48ヵ月元金均等償還

① 融資状況

処理区別貸付集計 (平成30年度~令和元年度)

(金額:千円)

	年度		平成30年度			令和元年度	
処理区名		汲み取り	浄化槽	合計	汲み取り	浄化槽	合計
浅野処理区	件数	0	0	0	0	0	0
伐野处垤区	金額	0	0	0	0	0	0
西部処理区	件数	0	2	2	0	1	1
四即定连区	金額	0	700	700	0	250	250
臨海処理区	件数	0	1	1	0	5	5
蹄 	金額	0	390	390	0	2,250	2,250
犀川左岸処理区	件数	0	2	2	0	1	1
净川左岸处垤区	金額	0	1,360	1,360	0	250	250
湯涌特環区	件数	0	0	0	0	0	0
伤 佣 付 垛 兦	金額	0	0	0	0	0	0
曲村工业为	件数	0	0	0	0	0	0
農村下水道	金額	0	0	0	0	0	0
合 計	件数	0	5	5	0	7	7
	金額	0	2,450	2,450	0	2,750	2,750

② 私道道路における公共下水道設置基準の緩和

- ア. 私道に面した土地または家屋の所有者の2人以上から申請があり、汚水桝を2箇所以上設置する場合
- イ. 道路に供している土地所有者の申請があった場合

上記の掲げる2項目を満足した場合、市において設置する。

(3) 年度別水洗化状況(公共下水道)

(3)	3)年度別水洗化状況		況(公共)	(公共下水道)						
年度	水洗化可i	洗化可能戸数 水洗化戸数 水洗化率 水		水洗便所	改造資金	私道共同 設置費		適用		
	単年度	累計	単年度	累計		融資戸数	融資額	助成件数	補助金	,III /11
昭和	戸	戸	戸	戸	%	戸	千円	件	千円	
44	1,602	1,602	200	200	12.5		960			
45	903	2,505	180	380	15.2		1,766			【水洗便所改造資金】
46	3,179	5,684	880	1,260	22.2		17,995			一戸当たり融資限度額
47	4,009	9,693	1,590	2,850	29.4		56,975			44~45年度 6万円
48	3,403	13,096	2,360	5,210	39.8		79,940			46年度 8万円
49	2,215	15,311	3,100	8,310	54.3		164,970			47年度 10万円
50	3,902	19,213	3,520	11,830	61.6					48年度 12万円
51 52	3,180 2,958	22,393 25,351	3,450 4,624	15,280	68.2 78.5		241,920 387,990			49~51年度 20万円
53	2,989	28,340	2,927	19,904 22,831	80.6					52年度 25万円 53~63年度 30万円
54	2,569	30,911	3,562	26,393	85.4	Ĺ				平成元~5年度 40万円
55	5,442	36,353	3,795	30,188	83.0					6年度 50万円
56	2,791	39,144	3,786	33,974	86.8					7年度~ 70万円
57	5,969	45,113	3,739	37,713	83.6	<u> </u>				償還月数
58	4,020	49,133	4,162	41,875	85.2					44~51年度 20月
59	3,893	53,026	5,657	47,532	89.6		372,960			52年度 25月
60	1,953	54,979	3,277	50,809	92.4					53~平成5年度 30月
61	5,056	60,035	3,780	54,589	90.9	ĺ				平成6年度 36月
62	3,936	63,971	3,522	58,111	90.8	Ĺ	279,530			7年度~ 48月
63	4,160	68,131	4,513	62,624	91.9					貸付利息
平成元	3,494	71,625	3,588	66,212	92.4	829	,			44年度 年5分5厘
2	1,372	72,997	3,551	69,763	95.6					45年度~ 無利子
3	3,309	76,306	2,428	72,191	94.6	780	257,070	4	879	
4	2,299	78,605	2,655	74,846	95.2	624	202,490	4	876	
5	2,355	80,960	2,613	77,459	95.7	419	137,650	6	1,697	【私道共同排水設備設置費補助 】
6	9,259	90,219	2,055	79,514	88.1	518	207,610	7	2,336	平成3年度~
7	3,707	93,926	4,727	84,241	89.7	1,133	530,590	14	5,457	補助率1/2
8	3,318	97,244	3,862	88,103	90.6	837	399,810	10	3,183	限度額60万円
9	4,753	101,997	4,888	92,991	91.2	572	281,150	7	2,518	
10	3,151	105,148	2,861	95,852	91.2	490	238,660	3	914	
11	4,828	109,976	3,616	99,468	90.4	317	144,640			
12	4,793	114,769	4,696	104,164	90.8	402	189,510			
13	4,198	118,967	4,253	108,417	91.1	317	146,160			
14	4,222	123,189	3,665	112,082	90.1	253	108,830			
15	2,915	126,104		115,456	91.6		58,480			
16	·	129,552	3,219	118,675	91.6					
17	2,923	132,475	2,900	121,575	91.8	80	32,910			
18	3,726		2,978		91.4		33,510			
19	,	139,045	·	127,331	91.6		37,490			
20		140,865	2,586		92.2		29,460			
21		142,842	2,244		92.5		26,180			
22		144,859	2,340		92.8		22,580			
23		146,627	2,064		93.1		15,410			※平成25年度に実施した詳糸 調査の結果、水洗化可能戸娄
24		148,733		138,782	93.3		11,370			及び水洗化戸数が減少した。
25	△ 6,889		△ 2,506		96.1	22	9,086			
26	1,263		1,425		96.2		8,610			
27	2,102		2,072		96.3		8,940			
28 29		146,629	·	141,590	96.6		9,260			
	1,231	147,860	1,615		96.9		4,940			
30		149,103		144,924	97.2		2,450			
令和元	1,342	150,445	1,645	146,569	97.4	7	2,750			

7 料金制度等

(1)下水道事業受益者負担金

受益者負担金は、特定の事業により著しい利益を受ける者に対して、その利益を受ける限度において事業費の一部を負担させようとするもので、金沢市では、昭和43年3月旧都市計画法第6条の規定に基づく省令の制定により、受益者負担金制度を採用し、昭和47年12月に条例化し、下水道事業の推進を図っています。

〈下水道受益者負担金〉

負担区	地積	対 象 事 業 費	負担率	単位負担金額	公告年月日
1	3,360,000 m ²	2,695,518,000円	1/5	160円/㎡	S43. 5. 1
2	11,900,000 m ²	11,586,883,000円	1/5	194円/㎡	S48. 2. 21
3	13,360,000 m ²	20,010,031,000円	1/5	299円/㎡	S52. 3. 11
4	12,450,000 m ²	20,483,040,000円	1/5	329円/㎡	S59. 2. 1
5	14,960,000 m ²	28,338,000,000円	1/5	378円/㎡	S63. 2. 22
6	13,880,000 m ²	119,489,000,000円	5%	430円/㎡	Н 7. 3. 31
7	$8,404,000\mathrm{m}^2$	76,407,000,000円	5%	454円/㎡	H11. 3. 31

(2) 下水道使用料

下水道使用料は、下水道の使用者から使用量に応じて徴収し施設の維持管理費等にあてています。 金沢市の使用料は、基本使用料と従量使用料からなり、累進使用料体系となっています。

〈下水道使用料の額(1m³当たり)〉

(単位:円)

使用水量				57.4 ~	58.4 ~	60.6 ~	62.6 ~	H1.6 ∼	4.6 ~	6.6 ~	8.4	10.4 ~	21.4
医	52.4			58.3			H1.5			8.3	10.3	21.3	
											基本使用量	$0\sim10\text{m}^3$	基本使用料 900
1∼30 m ³	12	18	33	38	49	55	64	71	76	89	1,000	1,090	1~10m ³ 27
											以下超過量	11 00111	
											104	114	124
31~50	12	19	34	40	52	57	66	73	78	91	107	117	129
51~100	12	20	36	42	55	59	68	75	80	93	109	120	135
101~200	12	21	38	44	57	61	70	77	82	95	112	124	140
201~300	12	23	41	48	62	66	75	82	87	100	118	130	146
301~500	12	25	45	52	68	72	81	88	92	105	124	136	154
501~1,000	12	27	49	57	74	76	85	92	97	110	130	143	162
$1,001\text{m}^3\sim$	12	29	53	62	80	81	90	97	102	115	136	150	171
公衆浴場											基本	使用量0~1	00 m³
72 / Kru 9//	6	9	17	19	19	19	22	22	22	22		2,000	
$1 \text{m}^3 \sim$			11	1.0	1.0	13	22	22	22	22		以下超過量	
T111												25	

(3) 使用料改定の経緯

	• •															
				S44.4	52.5	56.7	57.4	58.4	60.6	62.6	H1.6	4.6	6.6	8.4	10.4	21.4
	区	分		\sim												
	,			52.4	56.6	57.3	58.3	60.5	62.5	H1.5	4.5	6.5	8.3	10.3	21.3	
-	平均改定	官率	%	_	91.00	81.00	16.60	29.80	6.70	14.69	10.10	6.60	15.98	18.37	9.62	8.28
-	一般家庭	平均	円	240	360	660	760	980	1,100	1,280	1,420	1,520	1,780	2,040	2,230	2,410
,	月20m³の下	水道使	用料						_,	_,,	_,	-,	_,	_,	_,,	_,

(4) 下水道使用料の年度別推移

項目	上	水	道	井	戸	水
年度	延 件 数	使用水量	使 用 料	延件数	使用水量	使 用 料
昭和44	0	697,709	8,372,508	0	111,555	1,338,660
45	0	1,250,066	15,000,782	0	148,833	1,785,996
46	0	2,112,373	25,348,476	0	259,492	3,113,904
47	89,894	4,449,361	53,392,332	1,404	716,537	8,598,444
48	125,195	6,551,175	78,614,107	2,172	1,589,000	19,068,000
49	152,435	7,727,457	92,729,543	2,379	4,593,614	55,123,368
50	183,754	9,735,971	116,831,662	3,242	5,069,806	60,837,672
51	221,477	11,032,043	132,384,520	3,515	7,697,310	92,367,720
52	270,607	12,570,204	251,182,014	4,093	8,070,593	212,165,508
53	329,928	13,892,793	286,286,477	4,741	7,922,288	218,008,208
54	377,512	15,210,940	310,050,129	5,143	7,690,627	212,314,188
55	426,558	16,385,728	331,541,736	5,491	6,670,905	182,285,641
56	486,422	17,955,756	561,224,543	6,031	6,270,026	270,707,525
57	548,270	19,201,096	794,951,531	6,769	6,244,462	353,899,993
58	624,756	21,975,006	1,162,876,738	8,629	6,367,587	461,093,694
59	691,858	24,143,896	1,290,972,081	8,499	6,255,911	460,895,103
60	741,430	25,539,377	1,466,657,959	9,454	5,750,953	428,755,093
61	784,198	25,959,810	1,512,265,400	10,455	5,205,329	387,334,685
62	853,548	27,963,768	1,830,079,847	11,221	5,197,801	421,887,421
63	929,348	29,513,461	1,978,746,255	11,881	5,265,181	438,628,566
平成元	1,004,256	31,581,590	2,288,400,875	12,323	5,487,291	487,376,538
2	1,061,900	33,885,034	2,518,865,922	12,916	5,721,732	501,575,469
3	1,109,820	34,887,115	2,586,297,792	14,920	5,934,413	520,494,778
4	1,129,360	35,646,552	2,756,304,473	16,054	5,905,759	552,407,034
5	1,174,720	35,959,682	2,824,491,704	16,606	5,795,356	546,282,277
6	1,206,950	37,284,043	3,284,828,874	16,736	5,744,949	599,791,704
7	1,257,874	37,489,040	3,431,329,822	16,548	5,562,471	593,199,171
8	1,384,068	39,906,936	4,382,426,387	17,318	5,514,123	691,538,435
9	1,495,016	41,435,545	4,628,749,424	18,658	5,598,718	707,749,260
10	1,572,150	42,413,868	5,440,870,445	18,535	5,648,782	798,584,070
11	1,619,415	43,008,121	5,576,815,707	18,744	5,741,141	803,220,474
12	1,690,422	44,301,463	5,667,885,557	18,922	5,738,774	852,768,375
13	1,748,404	44,699,958	5,756,465,684	19,304	5,843,850	857,165,868
14	1,800,128	44,968,767	5,803,210,076	19,323	5,846,790	856,479,981
15	1,861,220	45,531,351	5,857,207,401	18,876	5,842,371	859,534,162
16	1,904,958	45,941,532	5,912,443,222	18,519	5,785,685	852,497,706
17	1,949,288	46,371,580	5,974,097,140	18,537	6,041,366	877,902,556
18	1,993,142	46,044,449	5,926,306,348	18,431	5,922,273	874,030,337
19	2,030,158	46,441,850	5,979,114,731	18,064	5,966,342	881,428,259
20	2,065,780	46,468,645	5,991,798,828	17,576	5,833,525	861,991,001
21	2,091,560	46,550,039	6,418,557,954	17,323	5,725,145	948,312,177
22	2,231,121	47,357,287	6,567,487,736	25,379	5,760,102	956,800,122
23	2,253,530	46,866,747	6,481,800,244	25,171	5,808,289	974,339,379
24	2,278,178	46,585,683	6,466,910,169	24,796	5,608,830	940,160,116
25	2,302,948	46,229,564	6,425,909,604	24,617	5,395,065	903,643,666
26	2,329,452	45,940,841	6,555,512,802	24,186	5,355,471	922,860,343
27	2,364,703	46,429,193	6,665,230,370	22,844	5,568,299	963,416,231
28	2,392,167	46,570,743	6,692,483,710	21,882	5,361,009	926,380,885
29	2,418,497	47,047,310	6,765,887,512	21,646	5,383,948	930,404,734
30	2,457,168	46,513,651	6,692,493,274	26,675	5,322,712	916,250,148
	(12,741) 2,478,049	(293,153) 46,242,019	(40,652,534) 6,732,741,276	(5,324) 25,738	(116,108) 5,201,794	(16,434,617) 901,778,257
令和元	2,478,049 (12,796)	46,242,019 (289,151)	6,732,741,276 (40,969,228)	25,738 (5,247)	5,201,794 (106,694)	(15,332,447)

[※]平成22年度以降の延件数は抽出条件を変更 ※平成30年度から農村下水道分を合算。下段は農村下水道分(内数)。

公	衆	場		合	計
延件数	使用水量	使用料	延件数	使 用 水 量	使 用 料
0		149,124	0	834,118	9,860,292
0		220,800	0	1,435,699	17,007,578
0	52,950	317,700	0	2,424,815	28,780,080
174	92,801	556,806	91,472	5,258,699	62,547,582
219		681,600	127,586	8,253,775	98,363,707
251	129,300	775,800	155,065	12,450,371	148,628,711
290		891,600	187,286	14,954,377	178,560,934
330		1,808,580	225,322	19,030,783	226,560,820
373		3,075,332	275,073	20,992,494	466,422,854
468	·	3,702,852	335,137	22,226,509	507,997,537
483	429,588	3,866,292	383,138	23,331,155	526,230,609
523	415,512	3,739,608	432,572	23,472,145	517,566,985
552		6,014,044	493,005	24,644,234	837,946,112
590		8,598,509	555,629	25,902,179	1,157,450,033
658	·	9,536,973	634,043	28,844,737	1,633,507,405
726		10,680,204	701,083	30,961,923	1,762,547,388
778	·	10,569,890	751,662	31,846,640	1,905,982,942
769	553,055	10,508,045	795,422	31,718,194	1,910,108,130
768		11,721,247	865,537	33,713,378	2,263,688,515
755		11,589,534	941,984	35,305,439	2,428,964,355
772	541,933	11,922,526	1,017,351	37,610,814	2,787,699,939
784	556,012	11,865,296	1,075,600	40,162,778	3,032,306,687
799	582,657	12,445,099	1,125,539	41,404,185	3,119,237,669
797	543,234	11,951,148	1,146,211	42,095,545	3,320,662,655
760		11,444,994	1,192,086	42,275,265	3,382,218,975
714		11,747,824	1,224,400	43,562,984	3,896,368,402
724	531,176	12,304,642	1,275,146	43,582,687	4,036,833,635
738	531,961	13,018,342	1,402,124	45,953,020	5,086,983,164
733	491,857	12,162,741	1,514,407	47,526,120	5,348,661,425
807		12,732,738	1,591,492	48,538,444	6,252,187,253
821	486,890	12,396,650	1,638,980	49,236,152	6,392,432,831
815		14,977,296	1,710,159	50,500,730	6,535,631,228
813	503,805	13,576,017	1,768,521	51,047,613	6,627,207,569
631	527,158	14,048,687	1,820,082	51,342,715	6,673,738,744
581	536,807	14,238,775	1,880,677	51,910,529	6,730,980,338
564	548,059	14,537,845	1,924,041	52,275,276	6,779,478,773
553	568,608	14,408,471	1,968,378	52,981,554	6,866,408,167
525	551,535	14,609,588	2,012,098	52,518,257	6,814,946,273
497	469,737	11,844,225	2,048,719	52,877,929	6,872,387,215
441	400,495	10,588,920	2,083,797	52,702,665	6,864,378,749
415	353,078	9,345,496	2,109,298	52,628,262	7,376,215,627
488	305,993	7,970,466	2,256,988	53,423,382	7,532,258,324
462	296,582	7,743,225	2,279,163	52,971,618	7,463,882,848
449	289,747	7,578,113	2,303,423	52,484,260	7,414,648,398
443	294,245	7,678,650	2,328,008	51,918,874	7,337,231,920
454	285,452	7,678,746	2,354,092	51,581,764	7,486,051,891
401	282,116	7,488,088	2,387,948	52,279,608	7,636,134,689
349	270,067	7,187,319	2,414,398	52,201,819	7,626,051,914
348	259,905	6,997,397	2,440,491	52,691,163	7,703,289,643
342	260,121	6,962,706	2,484,185	52,096,484	7,615,706,128
(-)	(-) 261,771	(-) 7,055,352	(18,065) 2,504,126	(409,261) 51,705,584	(57,087,151) 7,641,574,885
(-)	(-)	(-)	(18,043)	(395,845)	(56,301,675)

(5) 下水道使用料収納体系別状況

TY101	ころんし スノンイイイス ポンド・イトンジョントング	ナインコーレング								
长国	望	定合	1111111	納	付	쒜	П	壓	振	
年月	件数	金額	1件あたり	件数	比棒	金額	件数		金	額
	#	田	田	世	%	E	世	%		田
28年度	1,159,878	7,626,051,914	6,575	238,928	20.60	1,437,448,369	920,950	79.40	6,188	6,188,603,545
29年度	1,173,071	7,703,289,643	6,567	247,357	21.09	1,447,974,340	925,714	78.91	6,255	6,255,315,303
30年度	1,194,796	7,615,706,128	6,374	255,862	21.41	1,411,585,888	938,934	78.59	6,204	6,204,120,240
元年度	1,207,795	7,641,574,885	6,327	260,682	21.58	1,389,337,889	947,113	78.42	6,252	6,252,236,996
(対前年増減)	(12,999)	(25,868,757)	(\triangle 47)	(4,820)	(0.17)	$(\triangle 22,247,999)$	(8,179)	(△ 0.17)	(48	(48,116,756)
31. 4	97,881	600,382,064	6,134	22,175	22.66	107,090,754	75,706	77.34	493	493,291,310
元. 5	102,752	643,574,105	6,263	22,277	21.68	117,977,137	80,475	78.32	525	525,596,968
9	97,814	625,274,275	6,392	21,331	21.81	113,673,807	76,483	78.19	511	511,600,468
2	102,891	649,470,920	6,312	21,744	21.13	120,658,734	81,147	18.87	528	528,812,186
8	97,879	625,192,251	6,387	21,219	21.68	112,691,755	76,660	78.32	512	512,500,496
6	102,775	667,615,178	6,496	21,598	21.01	120,287,181	81,177	66'82	547	547,327,997
10	98,139	618,898,486	6,306	21,373	21.78	111,198,331	76,766	78.22	202	507,700,155
11	102,788	641,680,705	6,243	21,452	20.87	117,290,829	81,336	79.13	524	524,389,876
12	98,031	634,180,900	6,469	21,248	21.67	115,484,972	76,783	78.33	518	518,695,928
2. 1	103,000	651,465,736	6,325	21,556	20.93	118,620,054	81,444	20.67	532	532,845,682
2	98,283	636,769,186	6,479	21,358	21.73	116,804,889	76,925	78.27	519	519,964,297
3	105,562	647,071,079	6,130	23,351	22.12	117,559,446	82,211	88.77	529	529,511,633
% 亚战30年库补总		言ななる質								

※平成30年度から、農村下水道分を合算。

区分	HE'	分平	坂入		収入	₩.	*	収金
年月	4 数	金額	件 数	金額	件 数	金額	4 数	金額
	件	EĽ	世	E	%	%	中	H
31. 4	97,881	600,382,064	97,732	599,807,756	99.85	99.90	149	574,308
元. 5	102,752	643,574,105	102,580	642,884,402	69.83	68.66	172	689,703
9	97,814	625,274,275	97,644	624,660,800	99.83	06.99	170	613,475
2	102,891	649,470,920	102,713	648,768,228	99.83	68.66	178	702,692
8	97,879	625,192,251	97,680	624,430,369	08.66	88.66	199	761,882
6	102,775	667,615,178	102,551	666,637,913	99.78	99.85	224	977,265
10	98,139	618,898,486	97,911	617,969,736	22.66	99.85	228	928,750
11	102,788	641,680,705	102,487	640,427,181	99.71	08.66	301	1,253,524
12	98,031	634,180,900	97,256	630,883,172	99.21	99.48	775	3,297,728
2. 1	103,000	651,465,736	100,861	641,328,301	97.92	98.44	2,139	10,137,435
2	98,283	636,769,186	92,903	611,077,799	94.53	95.97	5,380	25,691,387
3	105,562	647,071,079	48,469	323,151,604	45.92	49.94	57,093	323,919,475
√ □	1,207,795	7,641,574,885	1,140,787	7,272,027,261	94.45	95.16	67,008	369,547,624
※平成30年度から		農村下水道分を合算。						

8 財務の状況

(1) 財務状況の推移

ア 収益的収入及び支出(消費税抜き)

(単位:千円)

		区	分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	事	業』	又益(A)	16,979,764	16,921,860	16,911,564	16,777,349
		営	業	収 益	9,947,176	10,006,067	9,851,123	9,860,642
収		(下	水道使	恵用料)	(7,061,656)	(7,133,179)	(7,052,090)	(7,031,023)
		営	業外	収 益	7,032,588	6,915,793	7,060,211	6,916,707
益		そ	の	他		1	230	
1111.	事	業	費用(В)	15,829,700	15,681,885	15,808,993	15,649,587
		人	件	費	486,570	484,232	422,229	426,536
的		支	払	利 息	2,823,532	2,568,013	2,407,962	2,175,068
		減	価 償	却費	9,707,471	9,666,827	9,775,078	9,716,528
П¬		動	力	費	170,496	189,931	230,899	223,651
収		修	繕	費	632,426	649,993	643,931	555,024
		薬	品	費	40,616	44,479	48,596	50,331
支		委	託	料	1,298,674	1,367,872	1,450,621	1,492,837
		そ	の	他	669,915	710,538	829,677	1,009,612
	-	差引	(A) -	(B)	1,150,064	1,239,975	1,102,571	1,127,762

⁽注)人件費には、児童手当を含む。

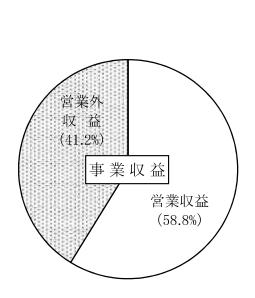
イ 資本的収入及び支出(消費税込み)

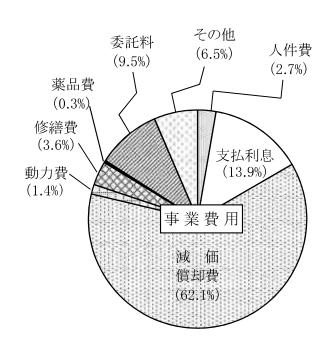
(単位:千円)

		区	分			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	資	本	的収入	(C)	6,784,538	7,174,220	7,396,373	7,471,260
資		企	業		債	4,200,500	4,575,000	4,555,800	4,652,700
		他	会計負	負 担	金	20,038	16,287	23,041	23,066
本		国	庫補	助	金	1,730,730	1,769,546	1,699,087	1,556,990
		Н	事 負	担	金	32,390	32,389	67,735	56,563
的		そ	の		他	800,880	780,998	1,050,710	1,181,941
	資	本	的支出	(D)	13,830,277	13,905,365	14,159,227	13,953,554
収		建	設 改	良	費	4,077,230	4,205,275	4,247,228	4,411,289
		企	業債份	賞 還	金	9,743,787	9,695,150	9,909,549	9,539,515
支		そ	の		他	9,260	4,940	2,450	2,750
	;	差引	(C) -	(D)		△ 7,045,739	△ 6,731,145	△ 6,762,854	△ 6,482,294

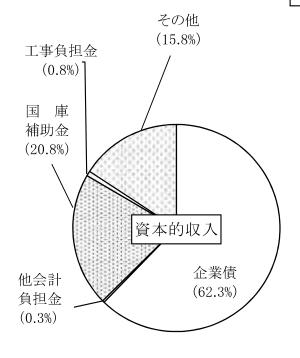
令和元年度下水道事業財務状況構成図

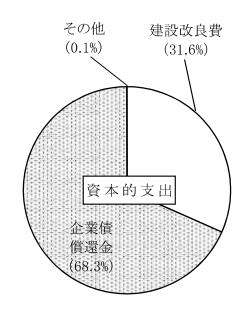
収益的収支





資本的収支

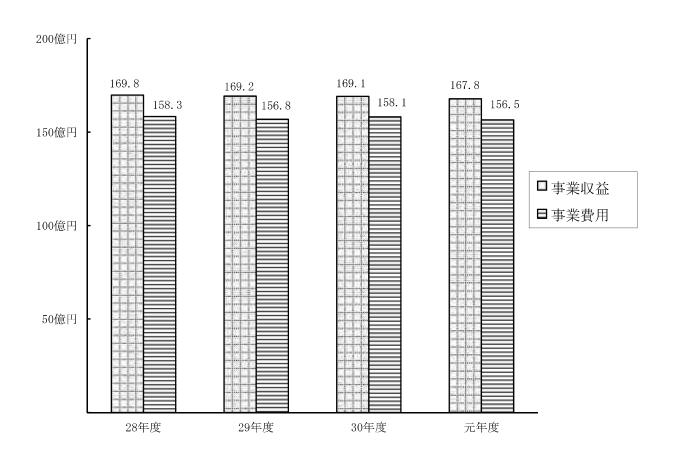




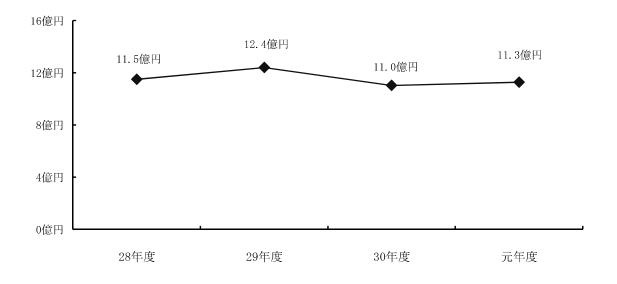
(2) 損益計算書比較

(乙) 頂無可弄	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
区分	金 額	構成 比率						
事業収益	円 16,979,764,002	% 100.0	円 16,921,860,739	% 100.0	円 16,911,564,447	% 100.0	円 16,777,348,738	% 100.0
営 業 収 益	9,947,175,865	58.6	10,006,067,370	59.1	9,851,123,169	58.3	9,860,642,081	58.8
下水道使用料	7,061,655,590	41.6	7,133,179,296	42.2	7,052,089,600	41.7	7,031,023,242	41.9
他会計負担金	2,733,935,058	16.1	2,714,007,964	16.0	2,617,268,325	15.5	2,561,250,774	15.3
その他営業収益	151,585,217	0.9	158,880,110	0.9	181,765,244	1.1	268,368,065	1.6
営業外収益	7,032,588,137	41.4	6,915,793,369	40.9	7,060,211,320	41.7	6,916,706,657	41.2
受取利息及び配当金	2,058,712	0.0	1,186,608	0.0	926,964	0.0	482,357	0.0
補助金	119,500	0.0	138,500	0.0	122,000	0.0	162,500	0.0
他会計負担金	2,878,934,874	17.0	2,764,085,874	16.4	2,861,038,620	16.9	2,749,314,552	16.4
長期前受金戻入	4,134,040,228	24.3	4,130,752,481	24.4	4,170,116,185	24.6	4,145,017,227	24.7
雑収益	17,434,823	0.1	19,629,906	0.1	28,007,551	0.2	21,730,021	0.1
特 別 利 益	=	_	_	_	229,958	0.0	_	_
その他特別利益	_	_	_	_	229,958	0.0	_	_
事 業 費 用	15,829,700,043	100.0	15,681,885,311	100.0	15,808,993,278	100.0	15,649,586,956	100.0
営 業 費 用	12,933,368,268	81.7	13,059,357,428	83.3	13,330,766,709	84.3	13,401,554,399	85.6
管渠費	614,302,551	3.9	595,851,673	3.8	654,425,917	4.1	786,828,598	5.0
ポンプ場費	223,965,472	1.4	263,503,369	1.7	247,475,264	1.6	183,750,548	1.2
水質管理施設費	1,747,932,817	11.1	1,833,067,903	11.7	1,971,624,940	12.5	1,940,726,945	12.4
排水設備普及対策費	78,529,281	0.5	82,255,028	0.5	84,151,622	0.5	92,224,563	0.6
下水道使用料 徴収事務費	273,194,249	1.7	297,172,502	1.9	320,292,115	2.0	337,735,709	2.1
総係費	253,671,147	1.6	250,264,791	1.6	202,982,515	1.3	198,147,019	1.3
減価償却費	9,707,471,135	61.3	9,666,827,400	61.6	9,775,078,662	61.8	9,716,527,838	62.1
資産減耗費	34,301,616	0.2	70,414,762	0.5	74,735,674	0.5	145,613,179	0.9
営業外費用	2,884,329,135	18.2	2,622,527,883	16.7	2,477,211,050	15.7	2,248,032,557	14.4
支払利息及び 企業債取扱諸費	2,823,531,349	17.8	2,568,012,854	16.4	2,407,962,206	15.2	2,175,068,217	13.9
雑支出	60,797,786	0.4	54,515,029	0.3	69,248,844	0.5	72,964,340	0.5
特別損失	12,002,640	0.1	_		1,015,519	0.0	_	-
固定資産売却損	12,002,640	0.1	_		_		_	
減損損失	_	_	_	_	_	_	_	_
その他特別損失	_	_	_	_	1,015,519	0.0	_	_
当年度純利益	1,150,063,959	_	1,239,975,428		1,102,571,169	_	1,127,761,782	_
前年度繰越利益剰余金又 は 前 年 度 繰 越 欠 損 金	184,219		248,178	_	223,606	_	794,775	_
その他未処分利益 剰余金変動額	_	-	_	-	_	_	_	_

下水道事業会計収支決算年度別比較



当期純利益の推移



(3)貸借対照表比較

資産の部

	_	- ^	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	×	分	金 額	構成比率	金 額	構成比率	金額	構成 比率	金額	構成比率
固	ڑ ا	定資産	262,990,287,589		円 257,300,474,174	% 97.6	円 257,472,645,753	% 98.0	円 251,865,308,993	% 97.8
	有	形固定資産	259,315,380,481	96.8	253,806,093,282	96.3	254,174,087,648	96.8	248,720,667,763	96.6
		土地	13,227,644,691	4.9	13,227,644,691	5.0	13,397,946,874	5.1	13,398,387,756	5.2
		立木	302,698	0.0	302,698	0.0	302,698	0.0	364,698	0.0
		建物	12,721,059,558	4.8	12,889,320,850	4.9	14,193,913,573	5.4	13,919,909,986	5.4
		構築物	208,514,565,757	77.8	204,250,838,030	77.5	204,089,704,136	77.7	201,260,700,808	78.2
		機械及び装置	23,261,161,986	8.7	21,429,536,418	8.1	19,585,414,726	7.5	17,409,039,353	6.8
		車両運搬具	6,165,428	0.0	5,007,754	0.0	4,162,138	0.0	7,654,764	0.0
		工具器具備品	17,017,171	0.0	27,225,530	0.0	30,229,584	0.0	42,044,413	0.0
		建設仮勘定	1,567,463,192	0.6	1,976,217,311	0.8	2,872,413,919	1.1	2,682,565,985	1.0
	無	形固定資産	3,652,978,408	1.3	3,475,958,892	1.3	3,288,267,205	1.2	3,137,595,930	1.2
		電話加入権	366,400	0.0	366,400	0.0	366,400	0.0	366,400	0.0
		施設利用権	3,610,124,516	1.3	3,443,331,111	1.3	3,251,371,734	1.2	3,112,111,562	1.2
		その他 無形固定資産	42,487,492	0.0	32,261,381	0.0	36,529,071	0.0	25,117,968	0.0
	投そ	資 の他の資産	21,928,700	0.0	18,422,000	0.0	10,290,900	0.0	7,045,300	0.0
		長期貸付金	18,178,700	0.0	14,672,000	0.0	10,290,900	0.0	7,045,300	0.0
		公共下水道 事業減債基金	-		_	_	_	_	_	_
		その他投資	3,750,000	0.0	3,750,000	0.0	_	_	_	_
流	. 1	動 資 産	5,000,579,935	1.9	6,300,526,524	2.4	5,341,868,541	2.0	5,630,031,739	2.2
	現	金•預金	4,450,827,657	1.7	5,688,314,938	2.2	4,592,645,888	1.7	5,009,047,135	2.0
	未	収金	586,654,553	0.2	645,121,859	0.2	734,136,579	0.3	640,177,081	0.2
	貸	倒引当金	△ 38,813,17	5 0.0	△ 34,363,438	0.0	△ 30,819,789	0.0	△ 26,891,620	0.0
	前	払金	1,400,000	0.0	_	_	44,400,000	0.0	6,900,000	0.0
	そ(の他流動資産	510,900	0.0	1,453,165	0.0	1,505,863	0.0	799,143	0.0
	資	産合計	267,990,867,524	100.0	263,601,000,698	100.0	262,814,514,294	100.0	257,495,340,732	100.0

負債及び資本の部

員員及び資本の日	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
区 分	金額	構成 比率	金額	構成 比率	金額	構成 比率	金額	構成 比率
	円	%	円	%	円	%	円	%
固定負債	132,918,394,561	49.6	127,879,201,482	48.5	125,178,473,919	47.6	120,091,551,251	46.7
企業債建設改良費等の財源に	132,136,849,225	49.3	127,092,597,780	48.2	124,440,329,623	47.3	119,399,032,580	46.4
充てるための企業債	132,136,849,225	49.3	127,092,597,780	48.2	124,440,329,623	47.3	119,399,032,580	46.4
引当金	781,545,336	0.3	786,603,702	0.3	738,144,296	0.3	692,518,671	0.3
退職給付引当金	781,545,336	0.3	786,603,702	0.3	738,144,296	0.3	692,518,671	0.3
流動負債	11,671,640,807	4.3	12,619,103,656	4.8	11,456,432,341	4.3	11,383,091,133	4.4
企業債	9,695,150,132	3.6	9,619,251,445	3.6	9,539,514,907	3.6	9,693,997,043	3.8
建設改良費等の財源に 光でるための企業債	9,695,150,132	3.6	9,619,251,445	3.6	9,539,514,907	3.6	9,693,997,043	3.8
未払金	1,629,502,885	0.6	2,512,641,219	1.0	1,577,544,537	0.6	1,361,535,909	0.5
未払費用	195,148,527	0.1	325,956,692	0.2	168,143,831	0.1	158,480,592	0.1
引当金	49,737,000	0.0	50,532,000	0.0	51,805,000	0.0	55,539,000	0.0
賞与等引当金	49,737,000	0.0	50,532,000	0.0	51,805,000	0.0	55,539,000	0.0
その他流動負債	102,102,263	0.0	110,722,300	0.0	119,424,066	0.0	113,538,589	0.0
繰 延 収 益	97,163,220,115	36.3	94,900,568,091	36.0	95,438,327,310	36.3	93,083,955,605	36.2
長期前受金	97,163,220,115	36.3	94,900,568,091	36.0	95,438,327,310	36.3	93,083,955,605	36.2
資 本 金	17,191,504,451	6.4	18,672,044,451	7.1	21,159,332,333	8.1	23,466,591,688	9.1
資本金	17,191,504,451	6.4	18,672,044,451	7.1	21,159,332,333	8.1	23,466,591,688	9.1
剰 余 金	9,046,107,590	3.4	9,530,083,018	3.6	9,581,948,391	3.7	9,470,151,055	3.6
資本剰余金	7,139,859,412	2.7	7,139,859,412	2.7	7,239,153,616	2.8	7,239,594,498	2.8
受贈財産評価額	267,755,244	0.1	267,755,244	0.1	271,181,832	0.1	271,622,714	0.1
国庫補助金	6,361,457,493	2.4	6,361,457,493	2.4	6,440,057,455	2.5	6,440,057,455	2.5
県補助金	70,832,985	0.0	70,832,985	0.0	71,561,230	0.0	71,561,230	0.0
他会計負担金	202,307,977	0.1	202,307,977	0.1	209,966,871	0.1	209,966,871	0.1
受益者負担金	237,505,713	0.1	237,505,713	0.1	246,386,228	0.1	246,386,228	0.1
利益剰余金	1,906,248,178	0.7	2,390,223,606	0.9	2,342,794,775	0.9	2,230,556,557	0.8
減債積立金	756,000,000	0.3	1,150,000,000	0.4	1,240,000,000	0.5	1,102,000,000	0.4
当年度未処分利益 剰余金	1,150,248,178	0.4	1,240,223,606	0.5	1,102,794,775	0.4	1,128,556,557	0.4
負債・資本合計	267,990,867,524	100.0	263,601,000,698	100.0	262,814,514,294	100.0	257,495,340,732	100.0

(4) **経営分析** ① 業務比率

外				良い。	000	こ近づいても良くない。	うち、料金として徴収	良い。	量をみて、その効率を	程良い。	の処理量をみて、その	大きい程良い。	张 日 樹 图 出 卉	计引属概则数				
備	施設の利用度を把握する。	100%に近い程良い。	負荷率×最大稼働率	原則として100%に近い程良い。	施設の利用の適切性をみる。	高い程良いが、余り100%に近づいても良くない。	処理場で処理された汚水のうち、料金として徴収	される水量の割合。高い程良い。	下水管渠1m当た9の処理量をみて、その効率を	はかるもの。数値が大きい程良い。	有形固定資産1万円当たりの処理量をみて、その	効率をはかるもの。数値が大きい程良い。	张田	展員数14元数7707頃间型)				
元年度	9 69	0.50	0 03	6.00	7 20	90.1	0.00	84.0	0.70	0.17	J 0	0.7	000 901	900,291	7 015	6,010	170 000	1/0,007
30年度	610	2.10	0 63	7.60	109 9	7.601	7 60	83.1	0 00	0.02	20	7.7	219 016	919,010	7 040	0,040	179.969	172,505
29年度	2 03	7.60	2 33	7.60	1100	110.0	V V O	84.4	0 00	90.9	0 6	0.7	031 000	900,400	313 4		100 021	176,271
28年度	6 99	7.00	0 67	0.60	6 30	2.08	6 60	85.5	29.7		7.0	777 100	004,77	663 2	770,1	160 196	100,450	
公	一日平均処理水量 ~ 100		一日平均処理水量	施設能力 200	一日最大処理水量 、100	施設能力 200		年間汚水処理水量	年間総処理水量	下水管渠延長	年間総処理水量	有形固定資産(万円)	年間有収汚水量	損益勘定所属職員数	处理人口	損益勘定所属職員数	営業収益 -受託工事収入	一里 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本
項目	負 荷 率	(%)	施設利用率	(%)	最大稼働率	(%)	有 収率	(%)	下水管使用効率	(m^{3}/m)	固定資産使用効率	(m³/万円)	会	員 (m³/人)	- 処理人口	3	た。営業収益	

構成比率	
1	
#	
畢	
¥	
ν	֡
及7.6省	
7	
12	
里	
徊	
•	
世	
徑	
\bigcirc	

備 考	比率が小さい程良いが、公営企業は施設事業でも	あり、一般的に高いのが特徴。	(1) (1)	以,在尺。。	50% 17 上彩油土1.7.	20 /0次十/7. 黒みひ/ .。
元年度						
30年度	0 80	90.0	9 44	41.0	10.0	40.0
29年度	9 20	91.0	10V	40.9	7.31	40.1
28年度	100	30.1	9 01	43.0	0.31	40.0
	100	100	100	100	100	100
计	>	< 	>	< 		
公	固定資産	資産合計	固定負債	総資本	資本金 + 剰余金 +	総資本
項目	固定資産構成比率	(%)	固定負債構成比率	(%)	自己資本構成比率	(%)
	目	公 式 28年度 29年度 30年度 元年度 固定資産 、100 001 07.5 00.0 07.5	公 式 28年度 29年度 30年度 元年度 固定資産 X 100 98.1 97.6 98.0	公 式 28年度 29年度 30年度 元年度 固定資産 X 100 98.1 97.6 98.0 97.8 固定負債 X 100 40.5 47.5 47.5 46.6	公本 式 28年度 29年度 30年度 元年度 固定資産	公 式 28年度 29年度 30年度 元年度 固定資産 ** 100 98.1 97.6 98.0 97.8 固定負債 ** 100 49.6 48.5 47.6 46.6 資本金 + 剰余金 + 繰延収益 100 46.6 46.6 46.6

③ 財務比率

項目		私	28年度	29年度	30年度	元年度	備
固定比率	固定資産		010 1	0 000	1 700	0 00 1	資木で固定資産をどの程度まかなっているかをみる。
(%)	資本金+剰余金+繰延収益) NOI ×	213.1	0.802	204.1	199.9	低、程良い。
固定資産対長期	固定資産		000	L G G	1 00 1	6 00	長期適合率
資本比率(%)		100	102.0	0.701	102.4	102.3	100%以下が望ましい。
流 動 比 率	流動資産		10.04	0	76.6	0,4	短期債務に対して応ずべき流動資産が十分にあるかどうかの
(%)	流動負債	001	47.0	49.9	40.0	49.0	支払能力を示しており、公営企業では100%以上が望ましい。
酸性試験比率	現金預金+(未収金-貸倒引当金)		10.04		46.0	40.4	当座資産(現金、預金、未収金)と流動債務の対比で、支
(%)(流動負債	001	47.0	49.9	7.04	49.4	払能力をみる。100%以上が望ましい。
現金預金比率	現金預金		90.1	- E	1 07	6	即時支払能力をみる。
(%)	流動負債	100	00.1	40.1	40.1	44.0	20%以上が望ましい。

④ 資産資本の回転率

項目	公式	28年度	29年度 30	30年度	元年度	備考
自己資本回転率	営業収益 - 受託工事収入	00 0	00 0	000	000	白コ終本の利田庫をかる 粉結が高い知らい
(国)	(期首自己資本+期末自己資本)×1/2	00	0.00	00	0.00	日山具本の石川はなるかる。数庫が同い作民でい。
固定資産回転率	営業収益 - 受託工事収入	70 0	70 0	700	700	田子签券の利田市を書子 券店が直に行
(国)	(期首固定資産+期末固定資産)×1/2	0.04		0.04	0.04	国佐真连O个1加及企农 9。数围小同V"连庆V"。
城価償却率	当年度減価償却費 7,100	32 6		00 6	<i>3</i> 0 6	日子次好记上4.3.4.次十八日日子3.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4
(%)	減価償却資産+当年度減価償却費	00	0.04	90.0	5.30	自体員 年攷 で4元 月本ジ 収水(元公次9。
流動資産回転率	営業収益 - 受託工事収入	20-1	1 77	1 60	1 70	法事资券 化利田甲名电子
(国)	(期首流動資産+期末流動資産)×1/2	1.37		1.00	1.10	
未収金回転率	営業収益 - 受託工事収入	31 <u>31</u>		14.00	14.17	对豆类型共和国政众条件类型操 卡菲克斯班尔利国家多国际
(国)	(期首未収金+期末未収金)×1/2	19.10	67.01	14.00	14.1(不从並の円状の在及で次り。数旧が入さ4、年円状、600kgの1以50kgが10kgで

損益に関する比率 (D)

十二の。 1年三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		•		•			
項目	☆	工	28年度	29年度	30年度	元年度	備寿
総資本利益率	経常利益 - 経常損失	大	0 7 0	71.0	0.49	0 10	※答★7-74-72-1/Xの割入 等店式点1、PD 点1、
(%)	(期首総資本+期末総資本)×1,	/2	0.40	74.0	74.0	0.43	応貝子(-X) タ のイン1重い合っ数固クメ゚同ペイ年及ペ。
総収益対総費用比率	総収益		70 201	10201	106.07	10.701	一张].推出《古字记》出推"宋书"
(%)	総費用	100	101.21	107.91	100.97	101.21	火油と負用り仕刈口が湯用出の衣り。
営業収支比率	営業収益 -受託工事収入		00 32	טט	100	79.90	张致江和给访公士子
(%)	営業費用 - 受託工事費	001	60.07	cc.0 <i>)</i>	19.11	05.67	未统估期 贴平化衣 9。
経常収支比率	経常収益		L C C	100	00 00	10701	
(%)	経常費用	100	107.33	101.91	100.98	101.21	
企業債元金償還金対減	建設改良のための企業債元金償還金	>	0 1	1 40 00	10 11	1 40 70	起債元金が、その補てん財源である減価償却費
価償却費比率 (%)	当年度減価償却費 - 長期前受金戻入		76.161	149.22	12.161	140.72	に占める割合を表す。低い程良い。
企業債元金償還金	建設改良のための企業債元金償還金	金償還金 7100	110	1100	190 10	111	企業債発行額が事業規模に適正かどうかを
(%)	料金収入		96.811	115.61	120.18	16.111	判断する基準で、低い程良い。
坂 全 業 債 利 息	企業債利息	>	00 06	00 96	94.15	00.00	"
(%)	料金収入		09.80	00.00	04.10	50.34	"
対企業債元利	建設改良のための企業債元利償還金	償還金 / 100	150 67	151 01	164.00	149 45	
5 慣 選 金 (%)	料金収入		103.01	10.101	134.32	142.43	"
率職員給与費	職員給与費	7	82.9	89 9	92 9	703	
(%)	料金収入		0.0	00.0	0.0	0.91	

○各算式にて用いた用語の内容は次のとおりである。

有形固定資產+無形固定資產-土地-立木-建設仮勘定-電話加入権 11 11 ①減価償却資産

資本金+剰余金+繰延収益 資本+負債 資

П 本本 實 資務等

給料十手当等+法定福利費+賞与等引当金繰入額+退職給付費-児童手当 П

特別損失 特別利益 営業外費用 一 1 営業外収益 | 事業費用 事業収益 П 以 禁 業費用

特別収益 事業収益 業常

特別損失 事業費用 \parallel 以 費 班 田 疶

(5) 汚水処理原価等

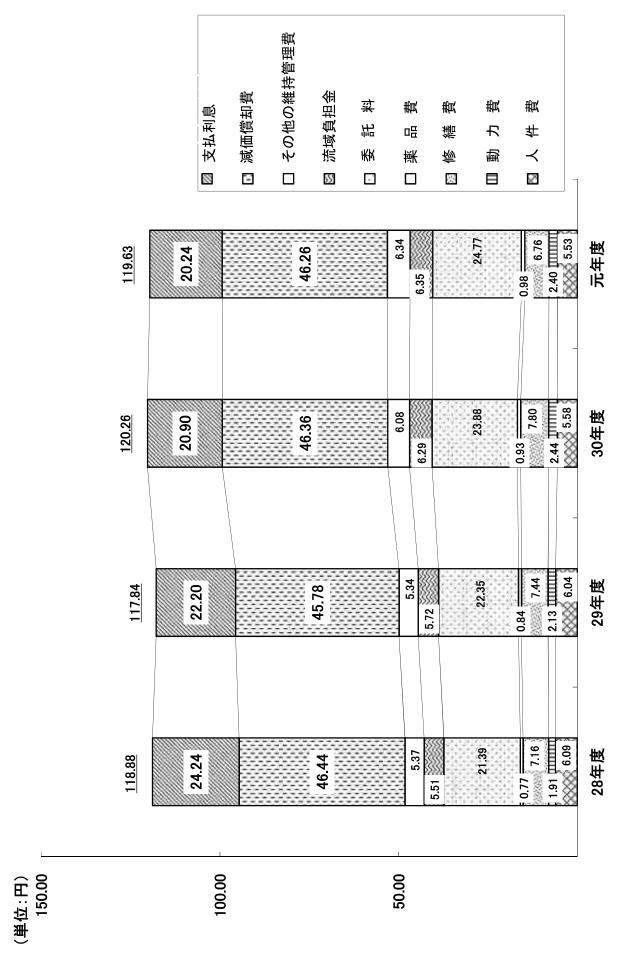
\ <u>\</u>		平月	戈28年度		平月	戈29年度		
	区	分	金 額	等	構成比	金 額	等	構成比
	ψH-	人 件 費	318,078	千円	5.1 %	318,214	千円	5.1 %
汚	維	動力費	99,511	千円	1.6 %	112,426	千円	1.8 %
	持	修 繕 費	373,601	千円	6.0 %	391,781	千円	6.3 %
水	管	薬品費	40,265	千円	0.6 %	44,251	千円	0.7 %
	⊨	委 託 料	1,116,648	千円	18.0 %	1,177,638	千円	19.0 %
処	理	流域負担金	287,382	千円	4.6 %	301,605	千円	4.9 %
	費	その他	280,298	千円	4.6 %	281,597	千円	4.5 %
理	~	小 計 A	2,515,783	千円	40.5 %	2,627,512	千円	42.3 %
	資	減価償却費	2,423,986	千円	39.1 %	2,412,347	千円	38.9 %
費	本	支払利息	1,265,744	千円	20.4 %	1,169,452	千円	18.8 %
	費	小 計 B	3,689,730	千円	59.5 %	3,581,799	千円	57.7 %
(※1) 合 計 C		6,205,513	千円	100.0 %	6,209,311	千円	100.0 %	
年間有収汚水量 D			52,201,819	m^3		52,691,163	m^3	
処理原価 C/D			118.88	円/m³	100.0 %	117.84	円/m³	100.0 %
	維持	管理費 A/D	48.20	円 $/m^3$	40.5 %	49.86	円 $/m^3$	42.3 %
	資本	費 B/D	70.68	円 $/m^3$	59.5 %	67.98	円 $/m^3$	57.7 %
使用料収入 E		7,061,656	千円		7,133,179	千円		
使用料単価 E/D			135.28	円 $/m^3$		135.38	円 $/m^3$	
原但	百回山	又率 E/C	113.80	%		114.88	%	
	維持	管理費 E/A	280.69	%		271.48	%	
	資本	費 (E-A)/B	123.20	%		125.79	%	

区分		平成30	年度(※	(2)	令和元	年度(※	(2)	
			金 額	等	構成比	金額	等	構成比
	¢₩-	人 件 費	288,345	千円	4.6 %	284,270	千円	4.6 %
汚	維	動力費	126,090	千円	2.0 %	123,057	千円	2.0 %
	持	修 繕 費	403,112	千円	6.5 %	347,516	千円	5.7 %
水	管	薬 品 費	48,111	千円	0.8 %	50,104	千円	0.8 %
	Ħ	委 託 料	1,234,218	千円	19.9 %	1,272,411	千円	20.7 %
処	理	流域負担金	325,254	千円	5.2 %	326,386	千円	5.3 %
	費	その他	314,032	千円	5.1 %	325,592	千円	5.3 %
理	ζ.	小 計 A	2,739,162	千円	44.1 %	2,729,336	千円	44.4 %
	資	減価償却費	2,395,857	千円	38.5 %	2,376,735	千円	38.7 %
費	本	支払利息	1,080,036	千円	17.4 %	1,039,976	千円	16.9 %
	費	小 計 B	3,475,893	千円	55.9 %	3,416,711	千円	55.6 %
(※ 1) 合 計 C		6,215,055	千円	100.0 %	6,146,047	千円	100.0 %	
年間有収汚水量 D			51,682,053	m3		51,376,484	m^3	
処理原価 C/D			120.26	円/m3	100.0 %	119.63	$ooall J/m^3$	100.0 %
	維持管理費 A/D		53.00	円 $/m^3$	44.1 %	53.13	$rac{m}{m}$	44.4 %
	資本	費 B/D	67.26	円 $/m^3$	55.9 %	66.50	$ooall J/m^3$	55.6 %
使丿	使用料収入 E		6,999,227	千円		6,979,202	千円	
使用料単価 E/D			135.43	円 $/m^3$		135.84	円 $/m^3$	
原促	百回山	ス率 E/C	112.62	%		113.56	%	
	維持	管理費 E/A	255.52	%		255.71	%	
	資本	費 (E-A)/B	122.56	%		124.38	%	

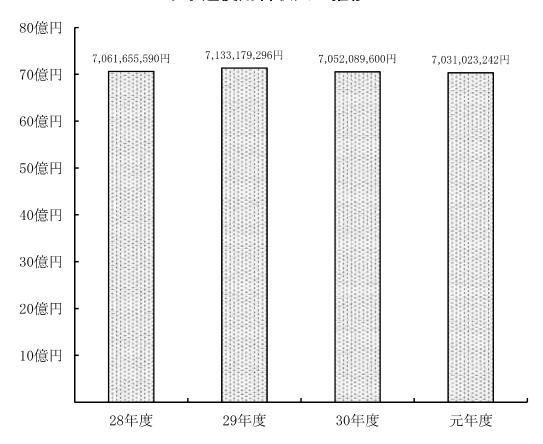
^{※1} 汚水処理費は、公費で負担すべき経費(総務省で定める繰出基準に計上された経費) 及び長期前受金戻入分見合いの減価償却費を除いた額とする。

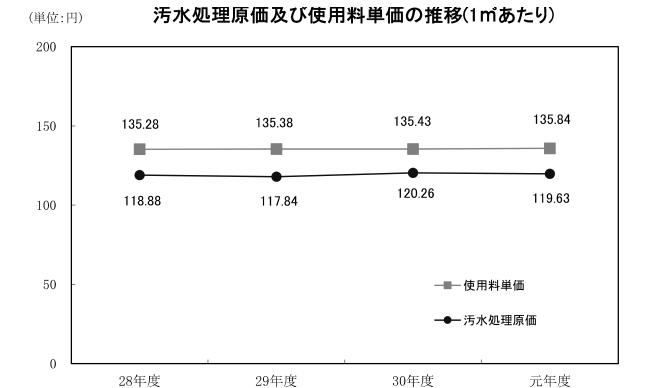
^{※2} 農村下水道事業分を含んでいない。

汚水処理原価(1㎡あたり)推移

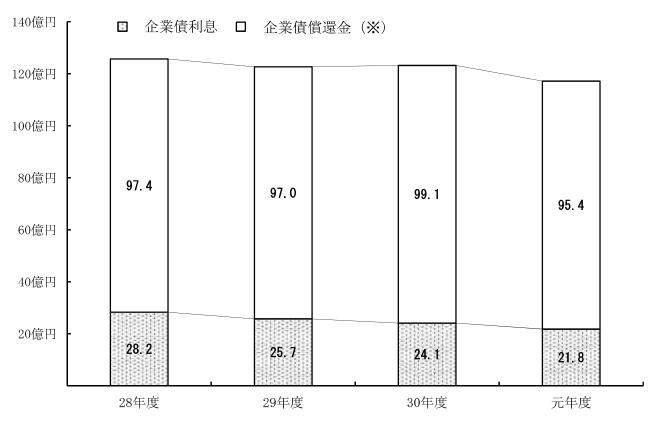


下水道使用料収入の推移





企業債利息及び企業債償還金の推移



※ 企業債償還金は、繰上償還額を含む。

企業債残高の推移

